

消防年報

令和2年版



Courage 勇氣 Love 愛 Union 團結

流山市消防本部

は じ め に

消防は市民の生命、身体及び財産を守り、市民の方々が安心して住める街づくりを推進するため、消防力の充実強化はもとより、鋭意消防行政の進展に取り組んでおります。

この年報は、令和2年中における流山市の消防現勢と諸資料を収録する一方、併せて消防の概況を紹介し、その実態をご理解いただくことを目的に編集しました。

掲載した内容につきましては、暦年をもって収録したもののですが、予算については年度をもって作成しました。

令和3年6月

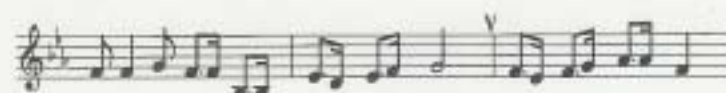
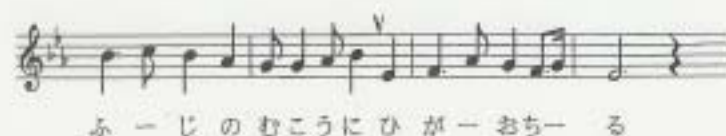
流山市消防本部

流山市消防歌

♪ この制服の誇らしさ

作詞 柏木謙介
作曲 高橋良雄

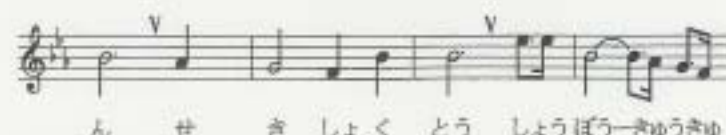
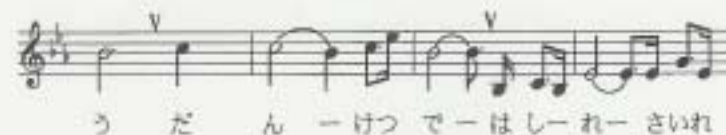
- 1 筑波の肩に陽が昇り
富士の向うに陽が落ちる
美しいまちながれやま
住む人々の幸せを
この手で守る生き甲斐に
この制服の誇らしさ
固い友情団結で
走れサイレン赤色灯
消防・救急・救助隊



- 2 歴史が生きてる町角も
木の香の薫る町並も
伸びてゆくまちながれやま
人のいのちの尊さを
自分が守る使命感
この制服の誇らしさ
あつてはならぬ災害に
いつも備えを怠らぬ
予防・警防・指令室



- 3 静かな流れ江戸川も
運河の風も睡る頃
なごやかなまちながれやま
家々の灯よおだやかに
夢安らかにと見守って
この制服の誇らしさ
六方面に分け持って
二十三個の分団の
三百余名の消防団



流山消防本部応援ソング

勇気の翼～おおたか君のテーマ

1 番

街中で輝いている いくつもの
希望の星はそこから見えているかな

作詞 ソノライフ
作曲

君にも覚えて欲しいことがあるんだ
命を守るオレンジの光

助けに行くから 怖がらず
唱えてごらんよ 魔法の数字を(119)

※もしも君が困ったなら迷わずに僕を呼んで
どんな時も駆けつけるよ 勇気の翼で
この街がいつも いつまでも笑顔で溢れるように
何度だって飛び立つのさ 君のために

2 番

君の行く手を阻むものがあるなら
雨を降らして虹の橋をかけるから

悲しい涙のおとは聞きたくないんだ
この手で繋ぐ 未来への道を

難しい言葉じゃないからさ
声に出してごらん魔法の数字を(119)

もしも君が苦しいなら迷わずに僕を呼んで
どんな時も見守ってる大きな瞳で 勇気の翼で
この街がいつも いつまでも笑顔で溢れるように
何度だって飛び立つのさ 君のために

例え翼が折れようとも
守りたいものが僕にはあるよ だから

※(繰り返し)

何度だって飛び立つのさ 君のために



目 次

1 概 要

流山市の概要	1
人口の推移	1
消防の沿革	2
消防の推移	9

2 組 織

消防本部・消防署の組織	10
職員の配置状況	11
職員の勤務年数	11
職員の年齢	12
職員の教育訓練	13
職員の休暇	13
職員の公務災害	13
市予算と消防予算	14
消防予算と人口比較	14

3 消防力

消防機関配置図	15
消防庁舎の現況	16
職員の定員と実員	16
消防機械の配置（常備）	17
消防機械の配置（非常備）	18
消防水利の現況	19
主な機械器具の状況	20
震災対策資機材の整備状況	21

消防相互応援協定等の状況	22
--------------	----

4 火 災

火災発生件数の推移	23
用途別火災状況	23
火災の発生状況	24
月別火災発生状況	25
死傷者のあった火災	25
時間別火災発生状況	26
出火原因別の火災件数等	27
四季別・曜日別火災発生状況	28
3年間の火災原因	28

5 救 急

救急出動件数の推移	29
事故種別ごとの推移	29
署別救急活動	30
救急車両の運行	30
月別救急活動	31
時間別救急活動	32
現場到着所要時間	32
年齢別救護	33
救急隊員が行った応急処置	33
事故種別傷病程度	34
救急隊員が行った未収容者の現場処置	34
高速道路出動件数	34

6 予 防

防火対象物の現況	35
中高層建築物の現況	36
査察の実施状況	36
建築同意	37
同意件数の推移	37
危険物施設の現況	38
危険物施設の許可	38
各種の届出	39
防火対象物定期点検報告制度	40

7 活 動

火災活動	41
救助活動	42
火災防ぎょ活動	43
火災以外の活動	43
消防防災思想の普及	44
起震車の活用	44

8 通信・気象

通信系統図	45
消防無線機の配置車両	46
火災・救急出動覚知別内訳	47
病院紹介状況	48
口頭指導状況	48
気象状況	49
気象情報の受理	49

9 消防団

消防団の組織	50
団員の実員	50
機械器具置場の現況	51
団員の配置	52
団員の年齢・勤務年数	53
団員の職業別構成	54
年齢別入団員	54
勤続年数別退団員	54
消防団の活動	55

総括表

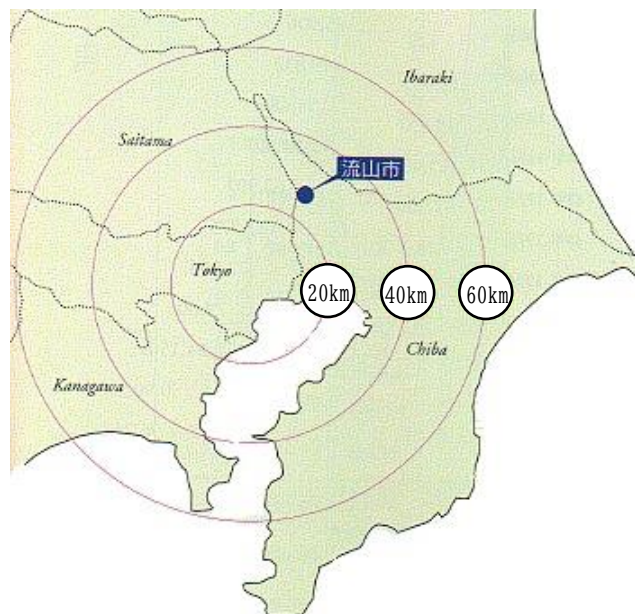
消 防 の 概 要	面 積 (km ²)		35.32	区 分		本部・署	団		
	H27年国調人口(確定値)		174,373	消 防 機 械	消 防 ポ ン プ 自 動 車		4	6	
	R2年12月31日常住人口		199,920		水槽付消防ポンプ自動車		4		
	R2年12月31日世帯		84,683		化学消防ポンプ自動車		1		
	消 防 本 部		1		梯子付消防ポンプ自動車		1		
	消 防 署		4		大 型 水 槽 車		1		
	消 防 職 員		197		救 助 工 作 車		1		
	分 団		22		救 急 自 動 車		7		
	消 防 団 員		297		全自動小型ポンプ積載車			6	
火 災	火災件数		22		機 械	小型動力ポンプ付積載車			11
	建 物 火 災	15	指令車・指揮車・査察車			4	1		
		建物以外の火災	7	起 震 車		1			
	損害見積金額(千円)		122,745	資 機 材 搬 送 車		1			
	建 物 焼 失 面 積 (m ²)		1,234.0	水 難 救 助 艇		1			
	火 災 に よ る 死 傷 者		8	そ の 他 車 両		12			
	1万人当たりの火災件数		1.1	計		38	24		
	救 急 ・ 救 助	救 急 出 動 件 数		7,569		通 信 用 施 設	消防用 無線機	遠隔制御装置基地局	
急 病		4,996	移動無線局	車載無線局				25	24
		交 通 事 故		418	その他無線局			66	
救 護 人 員		7,122	警 察 専 用 回 線				1		
救 助 活 動 件 数		81	予 算	消 防 予 算 (千 円)		2,177,835			
消 防 水 利	消火栓	公 設		1,452	消防費 (円)	一般会計構成比(%)		3.1	
		私 設		14		市民一人当たり		11,075	
	防火水槽	40 m ³ 未 満		118		1 世帯当たり		26,277	
		40 m ³ 以 上		832		対 象 物	防 火 対 象 物		4,412
	そ の 他		38	危 険 物 施 設			126		
計		2,454	中 高 層 建 築 物		565				

1 概 要

流山市の概要

千葉県北西部に位置し、東は柏市、西は江戸川を隔て埼玉県三郷市と吉川市、南は松戸市、北は野田市に接しています。首都圏北東部にあたり、都心から25 km圏に位置しています。

本市は東西7.96 km、南北10.36 km、周囲41 km、面積は35.32 km²からなる、水と緑の豊かな自然が息づく住宅文化都市です。平成17年8月24日には、東京都心との直結鉄道つくばエクスプレスが開業し、東京秋葉原と約25分で結ばれています。



人口の推移

(平成＝H、令和＝R)

区 分	面 積 (k m ²)	世 帯 数	人 口	増 加 人 口	1 k m ² 当たり	
					世 帯 数	人 口
H22 年	35.28	66,074	164,372	2,644	1,872	4,659
H23 年	35.28	66,376	166,496	2,124	1,881	4,719
H24 年	35.28	67,411	167,601	1,105	1,910	4,750
H25 年	35.28	68,663	169,461	1,860	1,946	4,803
H26 年	35.32	70,440	172,334	2,873	1,994	4,879
H27 年	35.32	72,578	175,923	3,589	2,054	4,980
H28 年	35.32	73,931	180,248	4,325	2,093	5,103
H29 年	35.32	76,465	185,071	4,823	2,164	5,239
H30 年	35.32	79,252	190,145	5,074	2,243	5,383
R 元年	35.32	81,950	195,087	4,942	2,320	5,523
R 2 年	35.32	84,683	199,920	4,833	2,397	5,660

各年12月末日の常住人口

消防の沿革

昭和26年4月1日	流山町・新川村・八木村が合併し、江戸川町消防団(3団20分団535人)となる。
昭和27年1月1日	町名変更により流山町消防団となる。
昭和29年4月1日	3団を統合し、1団制となる。初代消防団長に水代健司氏が就任。
昭和31年2月11日	流山町消防団に日本消防協会竿頭綬が授与される。
昭和32年2月11日	流山町消防団に日本消防協会表彰旗が授与される。
昭和32年4月1日	北部地域の人口増に対応するため、第21分団を新設。
昭和35年9月1日	江戸川台団地の造成に伴い、同地内へ第22分団を新設。
昭和37年4月1日	松ヶ丘団地の造成に伴い、同地内へ第23分団を新設。
昭和38年11月28日	消防技術の向上を目指し、第1回流山町消防団ポンプ操法大会が南部中学校で行われる。
昭和38年12月10日	流山町で、郡下ポンプ操法大会が行われ、自動車の部で1位となる。
昭和39年1月20日	流山町消防団常備部を設置するため、加206番地の9へ消防庁舎の建設を開始。
昭和39年3月1日	流山町消防団常備部員を15人採用。翌日、千葉県消防学校へ派遣。
昭和39年4月1日	流山町消防団常備部を発足する。部員15人。水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和39年5月30日	消防庁舎が竣工。(鉄筋コンクリート・軽量鉄骨2階建て延べ床面積354㎡)
昭和41年3月3日	流山町消防団に消防庁長官竿頭綬が授与される。
昭和41年4月1日	流山町消防団常備部を廃止し、同所に流山町消防本部・消防署が発足。初代消防長に石塚健氏(流山町助役事務取扱)同消防署長に福島義雄氏が就任。
昭和41年12月1日	北部地域の消防体制を充実するため、江戸川台東2丁目19番地へ江戸川台分遣所(合同)を開設。軽量鉄骨一部2階建て延べ床面積270.54㎡、消防吏員12人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和42年1月1日	市制施行(県下20番目)
昭和42年4月18日	2代消防長に榎本清次郎氏(流山市長職務代理者事務取扱)が就任。
昭和42年5月20日	3代消防長に岩井茂雄氏(流山市助役事務取扱)が就任。
昭和42年12月25日	東部地域の消防体制を充実するため、名都借314番地へ東部分遣所(合同)を開設。軽量鉄骨一部2階建て延べ床面積275.2㎡、消防吏員12人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和43年11月1日	救急業務を開始。
昭和44年4月1日	消防副士長制度を採用。

昭和45年4月27日	4代消防長に井上昇氏（八日市場警察署長）が就任。
昭和47年6月1日	初代消防団長の水代健司氏が勇退し、2代消防団長に池田讓吉氏が就任。
昭和47年11月13日	防火意識の高揚と安全な環境づくりを目指し、毎月13日を「市民防火の日」と定める。
昭和47年12月1日	社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される。
昭和48年4月10日	市と医師会との間に医療問題懇談会が組織され、救急業務に大きな前進となる。
昭和48年9月28日	消防団の機構改革（現分団を6地域に区分）を行い、方面制を編成する。
昭和48年10月3日	短波無線電話から超短波無線電話へ整備し、通信統制の円滑化を図る。
昭和49年3月7日	消防本部・消防団に消防庁長官表彰旗が授与される。
昭和49年4月1日	消防本部の機構改革を行い、総務課・予防課を設置し、消防本部の充実を図る。
昭和49年5月24日	都市消防体制の近代化を図るため、三輪野山110番地の1へ消防本部・消防署の庁舎が竣工する。鉄筋コンクリート3階建て延べ床面積1501.1㎡。
昭和49年9月15日	消防救急指令装置（C型）を導入。通信統制と消防活動の円滑化を図る。
昭和50年6月1日	保健センターが開設され、医師会に運営を委託し、休日診療体制が確立される。
昭和51年4月1日	4代消防長井上昇氏が勇退、5代消防長に杉村芳男氏（流山市教育次長）が就任。 消防本部の機構改革を行い、警防課を設置。
昭和51年12月1日	消防職員のコミュニケーションを図るため、「消防職員だより（60年10月号からくさざなみ>と改称）」を発刊。
昭和52年12月16日	社団法人日本損害保険協会から、救急自動車（ニッサン3B型）が寄贈される。
昭和53年1月1日	流山市消防音楽隊を14人で発足。
昭和53年4月1日	救急需要の増加に対応するため、救急隊を各署所に配置。
昭和53年9月1日	流山市第1回総合防災訓練を江戸川台小学校で行う。
昭和54年3月6日	流山市危険物安全協会と流山市防火管理者連絡協議会が合併し、流山市防火安全協会が設立される。
昭和54年4月1日	救助隊発足。
昭和54年11月30日	中高層建築物対策の一環として、はしご付消防ポンプ自動車（35.4m）を配置。
昭和56年5月24日	職員の健康管理と事務能率の向上を図るため、「4週5休体制」を導入。
昭和56年9月1日	消防行政担当区制度の活動を開始。
昭和56年10月1日	消防本部・消防署の機構改革を行う。2代消防署長に茂呂悌市氏が就任。

昭和56年10月22日	台風24号が来襲、市内の各地で被害が発生した。（床上浸水175棟、床下浸水1,083棟など被害総額76,562千円）
昭和57年4月1日	南部地域の消防体制を充実するため、鰯ヶ崎759番地へ南部分遣所を開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積465.1㎡、消防吏員13人、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置。
昭和57年10月30日	消防音楽隊の制服を新調。
昭和58年4月1日	5代消防長杉村芳男氏が流山市監査委員事務局長に転出したため、6代消防長に吉野芳矩氏（流山市経済環境部長）が就任。 流山市消防20周年記念事業委員会を設置。
昭和59年3月1日	流山市消防旗を制定。
昭和59年4月1日	消防本部・消防署の機構改革を行う。
昭和59年12月4日	財団法人日本自動車工業会から、救急自動車（ニッサン2B型）が寄贈される。
昭和60年4月1日	北部地域の消防体制を強化するため、江戸川台分遣所を北分署に昇格し、平方原新田139番地の1へ開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積760.81㎡、消防吏員30人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車・連絡車を各1台配置。 消防署の機構改革を行う。
昭和61年4月15日	社団法人日本損害保険協会から、消防ポンプ自動車（BD-1型）が寄贈される。
昭和61年5月30日	自治省消防庁の主要事業の一つである「消防団活性化モデル事業」の団体に採択される。
昭和61年7月1日	消防団の活性化を推進するため、流山市消防団活性化推進検討委員会を設置。
昭和61年8月22日	第15回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
昭和61年12月15日	消防の中樞を担った指令業務を一層迅速・的確に行うため、最新の消防救急指令装置（Ⅱ型）を導入。
昭和62年1月10日	消防団員のコミュニケーションを図るため、「まとい」を発行。
昭和62年4月1日	2代消防団長池田譲吉氏が勇退し、3代消防団長に秋元浩司氏が就任。
昭和62年8月21日	第16回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
昭和62年11月10日	市民に対する防火意識の高揚を図るため、消防団ニュース「展望（B5版4頁）」を発刊。
昭和63年4月1日	東部地域の消防体制を強化するため、東部分遣所を東分署に昇格し、前ヶ崎449番地の1へ開設。鉄筋コンクリート2階建て延べ床面積763.11㎡、消防吏員30人、水槽付消防ポンプ自動車・消防ポンプ自動車・救急車・連絡車を各1台配置。 消防署の機構改革を行う。

平成元年2月9日	東分署の敷地内に、本格的な消防救助技術訓練塔が完成。
平成元年5月14日	常備消防発足25周年を記念し、県下消防音楽隊フェスティバルを開催。
平成元年8月25日	第18回全国消防救助技術大会に、ロープ応用登はんの部で出場。
平成2年1月1日	消防職員の定員166名となる。
平成2年4月1日	6代消防長吉野芳矩氏が退職し、7代消防長に斉藤勝夫氏（流山市助役事務取扱）が就任。また、2代消防署長茂呂悌市氏が消防次長に昇格したため、3代消防署長に古宮一夫氏が就任。
平成2年7月1日	8代消防長に柏木謙介氏（流山市福祉部長）が就任。
平成2年11月6日	幼年期からの火災予防思想育成を図るため、本市初の幼年消防クラブ2団体（平和台・江戸川台ひまわり幼稚園）が結成される。
平成3年4月1日	消防本部（1係増設）・消防署（南部分遣所は南分署に昇格）の機構改革を行う。 福祉消防推進のため、予防課に、女性消防吏員を採用配置。3代消防署長古宮一夫氏が退職し、4代消防署長に斉藤常昭氏が就任。
平成3年7月5日	南分署に救急車を配置。
平成4年3月26日	常磐自動車道流山インターが供用開始。
平成4年4月1日	消防署に、市民生活に役立つ「暮らしを守る消防隊」を配置。
平成4年6月10日	消防本部・消防署庁舎の増築工事竣工。（鉄骨2階建て延べ床面積102.6㎡）
平成4年11月1日	「完全週休2日制」を導入。
平成5年2月4日	消防署に大型水槽車（10t）を配置。
平成5年4月1日	4代消防署長斉藤常昭氏が退職し、5代消防署長に根本英男氏が就任。消防職員の定員180名となる。
平成6年4月1日	9代消防長に茂呂悌市氏（消防次長）が就任。
平成6年5月1日	流山市常備消防30周年記念事業推進委員会を設置。
平成6年7月27日	財団法人日本消防協会から、救急自動車（トヨタ2B型）が寄贈される。
平成6年11月7日	流山市常備消防30周年記念式典を開催。 記念誌「明日に向かって」を発行。
平成7年1月17日	阪神・淡路大震災が発生。
平成7年9月5日	自治省消防庁の緊急消防援助隊に救急部隊1隊、消火部隊1隊、特殊部隊1隊及び隊員10人を登録する。
平成7年10月1日	本市初の消防団女性消防部が部員13人で発足。
平成7年11月22日	本市消防職員による第1号救急救命士（1人）が誕生。

平成8年4月1日	高規格救急自動車の本格的運用。
平成8年10月1日	消防組織法改正に伴い、流山市消防本部消防職員委員会を設置する。
平成9年2月8日	消防力の増強を図るため、「消防協力隊」を消防団退団者115名の人員で創設。
平成9年4月1日	10代消防長に根本英男氏（消防署長）が就任。 6代消防署長に田村清氏（予防課長）が就任。 消防本部・消防署の機構改革を行い、警防課を廃し、消防総務課（総務課）、 予防消防課（予防課・警防課）、指令課の3課制とする。 消防署消防救助係を、消防係、救助係の2係制とする。
平成9年10月23日	第13回全国婦人消防操法大会に、本市消防団女性消防部員で編成した流山市 婦人消防隊が出場し、優秀賞（銅メダル）を受賞。
平成10年11月10日	北分署に水難救助用ボート（ホーバークラフト）を配置。
平成11年4月1日	11代消防長に田村清氏（消防署長）が就任。 7代消防署長に田中晋氏（消防総務課長）が就任。
平成11年11月18日	はしご付消防ポンプ自動車（41.0m級）を更新整備し、消防署に配置。
平成12年5月26日	秋元浩司消防団長が、財団法人千葉県消防協会副会長並びに同協会東葛飾支 部長に就任。
平成13年5月1日	消防職・団員被服等貸与規則を一部改正する。
平成13年8月1日	第37回千葉県消防操法大会に東葛飾支部代表として、本市消防団第13分団が 小型ポンプ操法の部に出場。
平成14年4月1日	消防署組織の見直しを図り、2署2分署体制とする。 2署制に伴い、消防署を「中央消防署」に改称し、北分署を「北消防署」に 昇格する。 北消防署に庶務係と予防係の2係を増設し、4係制とする。
平成14年4月1日	3代消防団長秋元浩司氏が勇退し、4代消防団長に小澤茂之氏が就任。
平成14年4月1日	東分署配置の高規格救急自動車の本格的運用。
平成15年5月7日	東葛飾北部地域救急業務メディカルコントロール協議会発足。
平成16年3月26日	財団法人日本消防協会から、消防団司令車が寄贈される。
平成16年4月1日	12代消防長に田中晋氏（消防次長）が就任。 消防本部組織の見直しを図り、消防総務課に警防係を加え3係制とし、予防 消防課を予防課（2係）に改称した。 北消防署配置の高規格救急自動車の本格的運用。
平成16年6月1日	指令業務の一層の充実を図るため、最新の消防救急指令装置を導入し、本格 的な運用を開始。
平成16年11月13日	流山市常備消防40周年記念式典を開催。
平成17年5月18日	水難救助艇（ゴムボート）を中央消防署南分署に更新配置。

平成 17 年 7 月 1 日 4代消防団長小澤茂之氏が勇退し、5代消防団長に加藤勝夫氏が就任。

平成 18 年 4 月 1 日 13代消防長に鈴木新一氏（消防次長）が就任。

平成 19 年 4 月 1 日 14代消防長に倉持義男氏（消防次長）が就任。
消防本部組織の見直しを図り、消防総務課を2係（総務係、管理係）にし指令課を消防防災課（災害対策係、指令1係、指令2係）に改称した。

平成 19 年 8 月 22 日 第36回全国消防救助技術大会に、基本泳法の部で出場。

平成 20 年 4 月 1 日 15代消防長に大越一夫氏（消防次長）が就任。

平成 20 年 8 月 31 日 第37回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。

平成 21 年 4 月 1 日 消防署組織の見直しを図り、4署体制とする。
4署制に伴い、東分署を「東消防署」に、南分署を「南消防署」に昇格する。
東消防署、南消防署に庶務係と予防係の2係を増設し、4係制とする。
南消防署に普通ポンプ車を配置。

平成 21 年 8 月 21 日 第38回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場。

平成 22 年 3 月 12 日 総務省消防庁から、救助資機材搭載型車両を無償貸与され、第5分団に配置。

平成 22 年 4 月 1 日 16代消防長に高市豊勝氏（消防次長）が就任。

平成 22 年 11 月 26 日 社団法人日本損害保険協会から、小型動力ポンプ付軽消防自動車が寄贈される。

平成 23 年 3 月 11 日 東日本大震災発生。甚大な被害をもたらした東北地方での活動要請を国から受け緊急消防援助隊千葉県隊として3月14日～21日まで岩手県陸前高田市へ16名の職員を派遣し人命検索活動に従事したほか、福島県福島市に3月22日～4月8日、4月13日～21日まで24名の職員を派遣し救急搬送業務等に従事した。

平成 24 年 4 月 1 日 17代消防長に久保 明氏（消防次長）が就任。

平成 24 年 6 月 1 日 5代消防団長加藤勝夫氏が勇退し、6代消防団長に小倉邦裕氏が就任。

平成 24 年 6 月 9 日 流山中央ロータリークラブから指揮車が寄贈され、中央消防署に配置。

平成 24 年 8 月 7 日 第41回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し3位入賞。

平成 24 年 10 月 27 日 第34回千葉県消防音楽隊フェスティバルを流山市文化会館にて開催。

平成 25 年 4 月 11 日 6市（流山市・松戸市・市川市・野田市・鎌ヶ谷市・浦安市）による千葉北西部消防指令センターの運用開始。

平成 25 年 11 月 25 日 消防団120年・自治体消防65周年記念式典が東京ドームで開催された。

平成 26 年 2 月 5 日 南消防署新庁舎が竣工し業務開始。

平成 26 年 4 月 1 日 消防職員の定員190名となる。
中央消防署救急隊を増隊し2隊とする。

平成 26 年 8 月 27 日 第43回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部、応用登はんの部、障害突破の部で出場権を獲得。（広島県で大規模な土砂災害が発生したため、全国大会中止。）

平成 27 年 8 月 29 日	第44回全国消防救助技術大会に、はしご登はんの部及び障害突破の部で出場し、はしご登はんの部で第1位、障害突破の部で第5位に入賞。
平成 27 年 9 月 10 日	台風18号による「関東・東北豪雨」で鬼怒川堤防が決壊。 消防庁長官からの出動の求めに基づき緊急消防援助隊千葉県隊として9月15日～17日まで茨城県常総市へ8名の職員を派遣し、人命検索活動に従事した。
平成 28 年 8 月 24 日	第45回全国消防救助技術大会に、障害突破の部で出場し2位入賞。
平成 29 年 4 月 1 日	18代消防長に北野 浩一郎氏（消防次長）が就任。
平成 29 年 8 月 23 日	第46回全国消防救助技術大会に、引揚救助の部、障害突破の部で出場し、障害突破の部で第8位入賞。
平成 30 年 4 月 1 日	消防職員の定員200名となる。
平成 31 年 4 月 1 日	第9分団と第10分団を統合し、22ヶ分団とする。 消防団員の条例定員を300名に改正。
平成 31 年 4 月 1 日	千葉県消防学校が市原市菊間783番地1に移転し供用開始。
令和 元年 5 月 1 日	新元号「令和」施行。
令和 元年 6 月 30 日	第38回東葛飾支部消防操法大会を流山スポーツフィールドで開催。
令和 元年 9 月 20 日	台風15号により千葉県を中心に甚大な被害をもたらす。 「災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定」に基づき、9月20日～10月6日まで館山市に職員を派遣し、被災地での支援活動に従事した。
令和 2 年 4 月 1 日	消防職員の定員222名となる。 救急隊1隊増隊し6隊運用を開始。（中央消防署1隊、東消防署1隊、南消防署2隊、北消防署2隊）

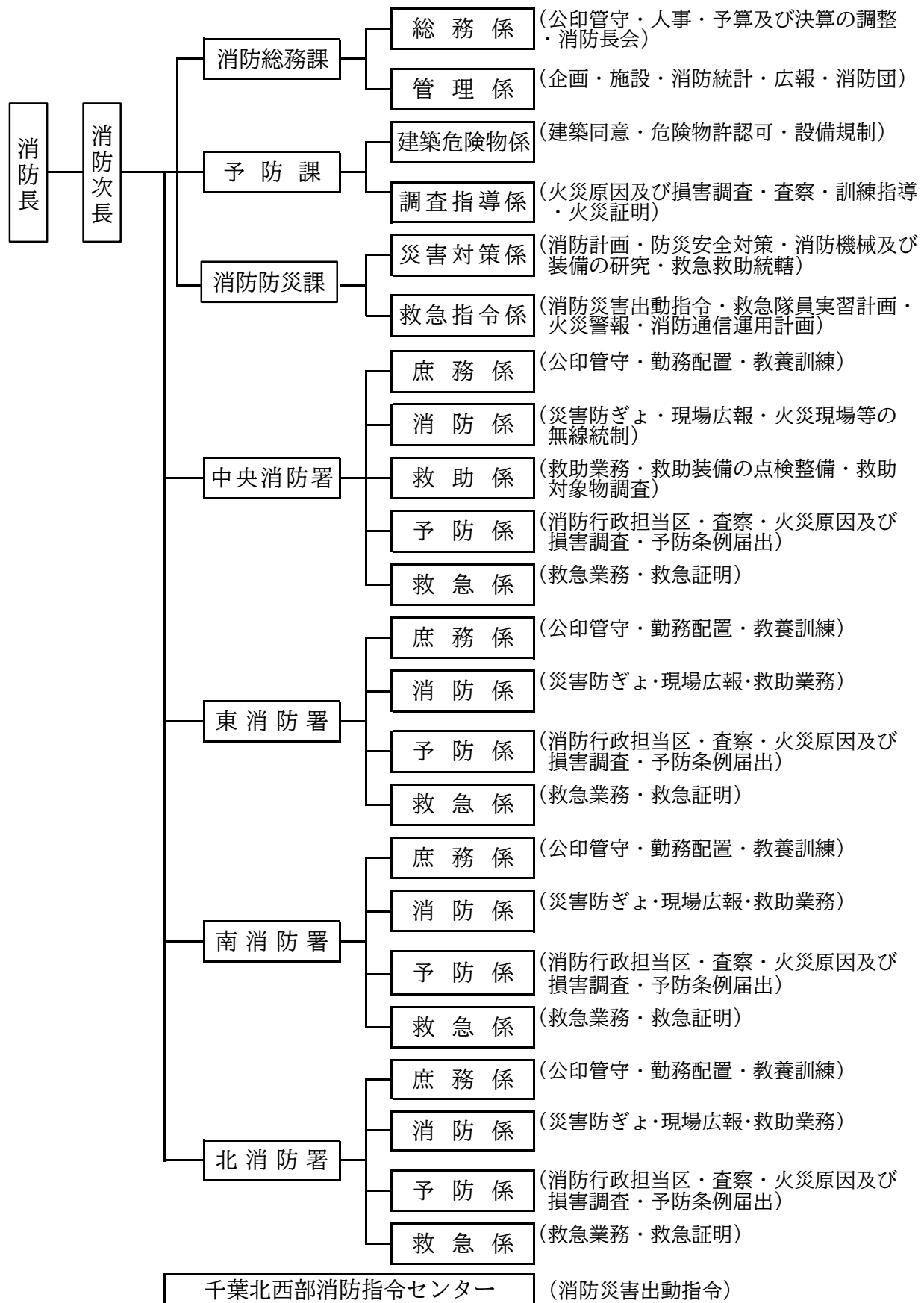
消防の推移

(昭和=S、平成=H、令和=R)

区 分	署 等	職員定員	職員実員	ポンプ車	分 団	団 定 員	団 実 員	ポンプ車
S60年	4	143	141	7	23	356	350	12
S61年	4	154	138	7	23	356	350	12
S62年	4	154	139	7	23	356	350	12
S63年	4	154	149	8	23	356	350	12
H元年	4	154	150	8	23	355	350	12
H2年	4	166	147	8	23	355	345	12
H3年	4	166	161	8	23	355	338	12
H4年	4	166	162	8	23	355	326	12
H5年	4	180	164	8	23	355	329	12
H6年	4	180	167	8	23	355	336	12
H7年	4	180	169	8	23	355	348	12
H8年	4	180	169	8	23	355	342	12
H9年	4	180	167	8	23	355	340	12
H10年	4	180	168	8	23	355	330	12
H11年	4	180	166	8	23	355	333	12
H12年	4	180	164	7	23	355	335	12
H13年	4	180	166	7	23	355	330	12
H14年	4	180	166	7	23	355	321	12
H15年	4	180	167	7	23	355	321	11
H16年	4	180	168	7	23	355	318	8
H17年	4	180	167	7	23	355	303	7
H18年	4	180	163	7	23	355	309	7
H19年	4	180	165	7	23	355	306	7
H20年	4	180	169	7	23	355	297	7
H21年	4	180	172	8	23	355	308	8
H22年	4	180	173	8	23	355	309	8
H23年	4	180	175	8	23	355	312	8
H24年	4	180	178	8	23	355	307	8
H25年	4	180	178	8	23	355	305	8
H26年	4	190	184	8	23	355	303	8
H27年	4	190	183	8	23	355	306	8
H28年	4	190	185	8	23	355	310	7
H29年	4	190	184	8	23	355	309	7
H30年	4	200	187	8	23	355	311	6
R元年	4	200	191	8	22	300	300	6
R2年	4	222	197	8	22	300	297	6

2 組 織

消防本部・消防署の組織



() 内は、主な事務の内容です。

職員の配置状況

区 分		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	消 防 次 長		2							2
	消 防 総 務 課		(1)		2	2	2			6
	予 防 課			1	2	4	1	1		9
	消 防 防 災 課			1	3	2	3			9
	計	1	2	2	7	8	6	1		27
消 防 署	中 央 署		(1)		7	16	9	5	20	57
	東 署			1	6	6	5	4	9	31
	南 署			1	6	10	6	4	12	39
	北 署			1	7	8	6	4	12	38
	計			3	26	40	26	17	53	165
千葉北西部消防指令センター					2	3				5
合 計		1	2	5	35	51	32	18	53	197

職員の勤務年数

区 分	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
5 年 未 満							1	37	38
5 年 以 上 10 年 未 満						7	12	16	35
10 年 以 上 15 年 未 満					7	20	5		32
15 年 以 上 20 年 未 満					5	4			9
20 年 以 上 25 年 未 満				1	8				9
25 年 以 上	1	2	5	34	31	1			74
計	1	2	5	35	51	32	18	53	197

職員の年齢

区 分	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
18 歳								1	1
19 歳								4	4
20 歳								8	8
21 歳								8	8
22 歳								7	7
23 歳								5	5
24 歳								3	3
25 歳								6	6
26 歳								5	5
27 歳							2	3	5
28 歳							3	3	6
29 歳						1	4		5
30 歳						3	3		6
31 歳						2	1		3
32 歳						6	1		7
33 歳						2			2
34 歳						1	2		3
35 歳					1	2			3
36 歳					2	5			7
37 歳					3	1	1		5
38 歳						1	1		2
39 歳					4	3			7
40 歳						3			3
41 歳					2	1			3
42 歳					1				1
43 歳									
44 歳					5				5
45 歳					3				3
46 歳				1	1				2
47 歳				1	4				5
48 歳					6				6
49 歳				1	4				5
50 歳				2	2				4
51 歳				2	1				3
52 歳				5	4				9
53 歳				1	1				2
54 歳			1	2	1				4
55 歳		1		3	1				5
56 歳			1	3	1				5
57 歳				1	1	1			3
58 歳			1	3	1				5
59 歳	1	1	1	8	2				13
60 歳			1	2					3
計	1	2	5	35	51	32	18	53	197
平 均	59.0	57.0	57.4	54.9	46.7	35.4	30.6	22.8	38.8

職員の教育訓練

(平成=H、令和=R)

区 分		H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
消防大学校	幹部科				1		1
	予防科			1		1	
	警防科		1				
	救急科						
	救助科	1					
	計	1	1	1	1	1	1
千葉県消防学校	初任科	8	8	5	6	10	5
	専科・幹部 (特別教育含む)	14	16	19	14	12	8
	救急科	6	4	4	2	8	2
	計	28	28	28	22	30	15
救急救命研修所		1	1	1	1	2	1
指導救命士養成研修所		1	1	1	1		
合 計		31	31	31	25	33	17

職員の休暇

区 分	年 次 休 暇		特 別 休 暇		計	1人 平均
	日数	平均	日数	平均		
消防本部	354	11.1	260	8.1	614	19.2
消 防 署	1,977	11.6	1,386	8.2	3,363	19.8
計	2,331	11.5	1,646	8.1	3,977	19.7

令和元年3月31日付け退職者も含む

職員の公務災害

区 分	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
火 災						
訓 練					1	1
その他		2	1			3
計		2	1		1	4

市予算と消防予算

(平成=H、令和=R)(単位：千円)

区 分		市予算	消防予算	比率(%)	前年度比較(%)
H27年度	当 初	55,041,000	1,978,624	3.6	△1.9
	決 算	54,639,048	1,927,276	3.5	△5.2
H28年度	当 初	52,775,000	1,978,884	3.7	0.0
	決 算	54,075,253	1,946,128	3.6	1.0
H29年度	当 初	52,910,000	2,076,951	3.9	5.0
	決 算	52,624,154	2,107,243	4.0	8.3
H30年度	当 初	55,485,000	2,097,583	3.8	1.0
	決 算	56,100,052	2,125,610	3.8	0.9
R元年度	当 初	60,067,000	2,052,848	3.4	△ 2.1
	決 算	59,897,899	2,220,336	3.7	4.5
R2年度	当 初	69,835,000	2,177,835	3.1	6.1
	決 算	—————	—————	—————	—————
令和2年度当初 消防予算の内訳		常 備 消 防 費	1,797,942	82.6	1.9
		非 常 備 消 防 費	50,598	2.3	△ 18.5
		消 防 施 設 費	176,597	8.1	12.3
		水 防 費	8,197	0.4	510.3
		災 害 対 策 費	144,501	6.6	111.9

消防予算と人口比較

(平成=H、令和=R)

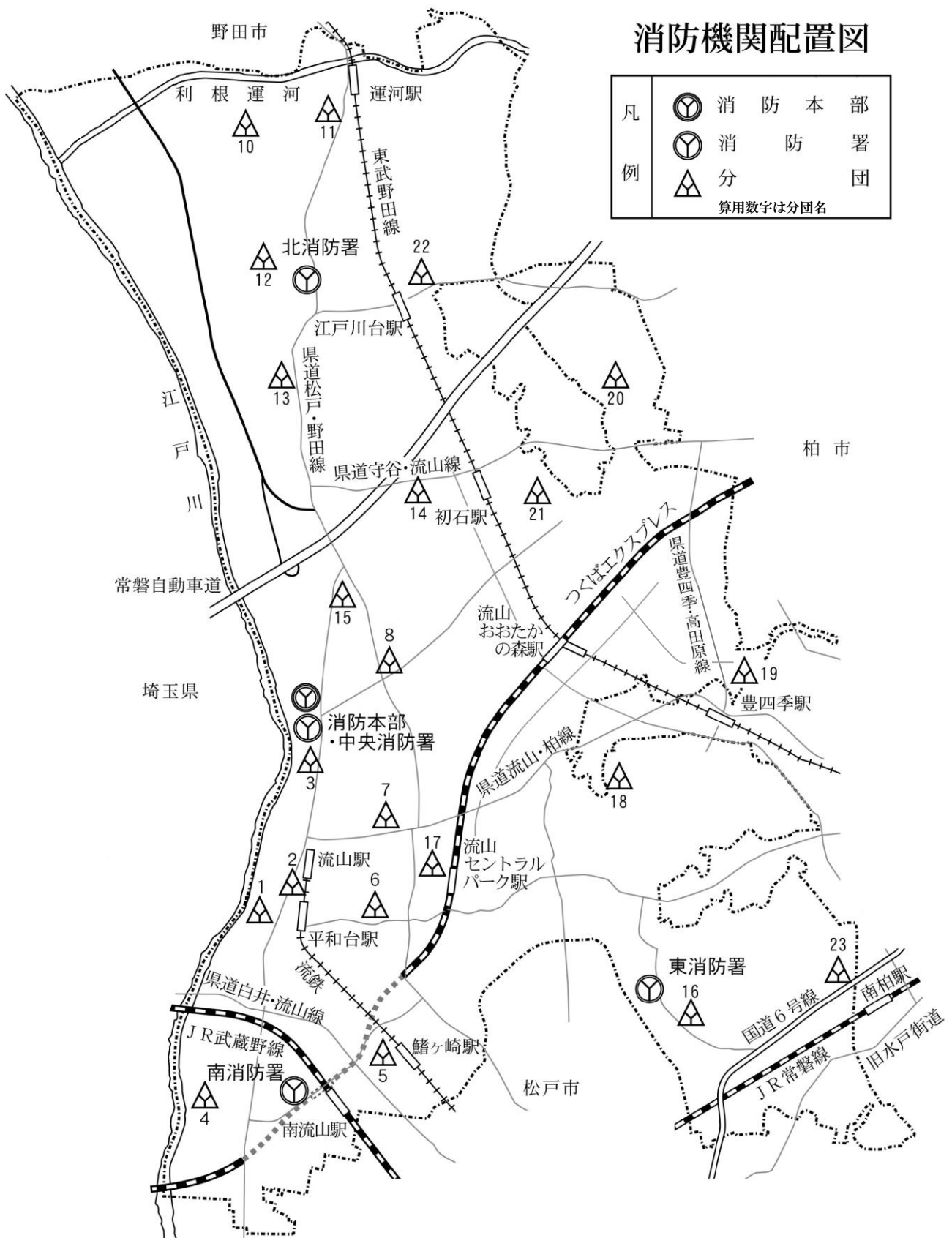
年 度	消防費 (千円)	人 口	1 人当たり(円)	世帯数	1 世帯当たり(円)
H27年度	1,978,624	173,231	11,422	71,006	27,866
H28年度	1,978,884	177,597	11,143	75,770	26,117
H29年度	2,076,951	181,737	11,428	74,722	27,796
H30年度	2,097,583	186,863	11,225	77,570	27,041
R元年度	2,052,848	191,403	10,725	80,066	25,639
R2年度	2,177,835	196,652	11,075	82,881	26,277

各年度4月1日の常住人口

3 消 防 力

消防機関配置図

凡 例		消 防 本 部
		消 防 署
		分 団
算用数字は分団名		



消防庁舎の現況

(昭和=S、平成=H)

区 分	所 在 地	敷地面積	建物構造	延 面 積	建築年月日
消 防 本 部 ・ 中 央 消 防 署	流 山 市 三輪野山 1-994	1,666.98㎡	鉄筋 コンクリート造 3階建	1,656.7㎡	S49.5.24 H4.6.10(増築) H21.10.1(増築)
東 消 防 署	流 山 市 前ヶ崎 449-1	2,747.00㎡	鉄筋 コンクリート造 2階建	763.11㎡	S63.3.25
南 消 防 署	流 山 市 南流山 3-9-6	1,163.90㎡	鉄筋 コンクリート造 3階建	1,523.26㎡	H26.1.15
北 消 防 署	流 山 市 美原 2-139-1	3,077.66㎡	鉄筋 コンクリート造 2階建	760.81㎡	S60.2.28

職員の定員と実員

(平成=H、令和=R)

区 分	条 例 定 員	実 員									
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計	再 任 用 職 員 (定 員 外)
H25年	180		1	7	30	63	27	10	40	178	
H26年	190		1	8	33	61	28	9	44	184	
H27年	190		1	7	31	58	27	13	46	183	3
H28年	190		1	7	30	60	28	15	44	185	4
H29年	190		1	7	30	56	32	15	43	184	6
H30年	200		1	7	32	54	32	18	42	186	7
R元年	200		1	7	33	54	32	18	46	191	6
R2年	222	1	2	5	35	51	32	18	53	197	8

消防機械の配置(常備)

(平成=H、令和=R)

	種 別	車 名	排気量 (ℓ)	級別	型 式	登録年月日
消防総務課	連 絡 車	日産ADバン	1.49			H22.4.1
	連 絡 車	トヨタノア	1.79			R2.10.1
予防課	査 察 車	日産ウイングロード	1.49			H25.12.9
	査 察 調 査 車	トヨタヴォクシー	1.98			H24.2.29
	指 導 車	ダイハツハイゼット	0.65			H20.11.7
消防防災課	指 令 車	日産エクストレイル	1.99			H26.6.16
	連 絡 車	トヨタヴォクシー	1.99			H18.12.27
中央消防署	普 通 ポ ン プ 車	日野デュトロ	4.00	A2級	CD-I 型	H22.2.18
	化 学 車	日野レンジャー	6.40	A2級	化学Ⅱ型	H23.12.16
	梯 子 車	日野KC-PR4FPDF	20.78	A2級	MLF H5-40R	H11.11.18
	救 助 工 作 車	日野レンジャー	6.40		救助Ⅱ型	H21.3.13
	大 型 水 槽 車	日野プロフィア	8.86	B3級	Ⅱ型	H20.3.3
	高 規 格 救 急 車	ニッサンパラメディック	3.49		高規格・4WD	H26.12.12
	指 揮 車	トヨタレジアスエース	2.69			H24.5.30
	連 絡 車	日産キャラバン	1.99			H12.5.19
	連 絡 車	日産セレナ	1.99			H29.7.3
	マ イ ク ロ バ ス	トヨタコースター	4.00			R2.5.27
東消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日野レンジャー	6.40	A2級	I-B 型	H19.11.26
	普 通 ポ ン プ 車	日野デュトロ	4.00	A2級	CD-I 型	H31.1.15
	高 規 格 救 急 車	ニッサンパラメディック	3.49		高規格・4WD	H30.1.16
	資 機 材 搬 送 車	日野デュトロ	4.00			R2.11.12
	連 絡 車	日産キャラバン	2.48			H29.10.11
南消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	いすゞフォワード	5.19	A2級	I-B 型	H22.2.18
	水 槽 付 ポ ン プ 車	日野レンジャー	7.96	A2級	I-B 型	H15.11.4
	普 通 ポ ン プ 車	日野デュトロ	4.00	A2級	CD-I 型	H20.12.19
	高 規 格 救 急 車	ニッサンパラメディック	3.49		高規格・4WD	H30.1.16
	高 規 格 救 急 車	ニッサンパラメディック	3.49		高規格・4WD	H25.11.26
	けん引車(ボートトレーラー用)	トヨタランドクルーザー	2.69			H9.8.29
	ボ ー ト ト レ ー ラ ー	ソレックス			BOAT17F	H22.8.6
	水 難 救 助 艇	浜口ウレタンAU380W				H30.12.5
	連 絡 車	日産ADバン	1.49			H27.6.1
北消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	日野レンジャー	6.40	A2級	I-B 型	H19.1.19
	普 通 ポ ン プ 車	いすゞエルフ	2.99	A2級	CD-I 型	H24.12.20
	高 規 格 救 急 車	トヨタハイメディック	2.69		高規格・4WD	R2.11.4
	高 規 格 救 急 車	ニッサンパラメディック	2.48		高規格・4WD	R2.2.10
	高規格救急車(予備車)	トヨタハイメディック	2.69		高規格・4WD	H21.11.12
	起 震 車	三菱キャンター	4.56			H9.12.18
	連 絡 車	日産キャラバン	2.48			H29.10.11

消防機械の配置(非常備)

(平成=H、令和=R)

	車 名	種 別	登録年月日	ポンプメーカー	級 別	登録年月日
団本部	ダイハツハイゼット	積載車	H22.11.26	ト ー ハ ツ	B-3	H22.11.26
	三 菱 パ ジ ェ ロ	司令車	H16.3.25			
第1分団	日 野 デ ュ ト ロ	CD-I	H19.2.23	G M い ち は ら	A-2	H19.2.23
第2分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H17.11.15	ト ー ハ ツ	B-2	H17.11.15
第3分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H16.9.22	ト ー ハ ツ	B-2	H16.9.22
第4分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H30.2.20	ト ー ハ ツ	B-2	H30.2.20
第5分団	日 産 ア ト ラ ス	救助資機材 搭載型	H22.3.12	ラ ビ ッ ト	B-2	H22.3.12
第6分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H14.10.10	ト ー ハ ツ	B-3	H20.7.22
第7分団	日 野 デ ュ ト ロ	CD-I	H22.12.2	G M い ち は ら	A-2	H22.12.2
第8分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H19.12.20	ト ー ハ ツ	B-3	H19.12.20
第10分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H21.11.20	ト ー ハ ツ	B-3	H17.11.15
第11分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H16.9.22	ト ー ハ ツ	B-2	H16.9.22
第12分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H20.11.27	ト ー ハ ツ	B-3	H20.11.27
第13分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H19.12.20	ト ー ハ ツ	B-3	H19.12.20
第14分団	日 野 デ ュ ト ロ	CD-I	H21.11.12	G M い ち は ら	A-2	H21.11.12
第15分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H15.9.22	ト ー ハ ツ	B-3	H15.9.22
第16分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H18.9.20	ト ー ハ ツ	B-3	H18.9.20
第17分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H20.11.27	ト ー ハ ツ	B-3	H20.11.27
第18分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H16.9.22	ト ー ハ ツ	B-2	H16.9.22
第19分団	日 産 ア ト ラ ス	全自動	H28.3.1	ト ー ハ ツ	B-2	H28.3.2
第20分団	日 産 ア ト ラ ス	積載車	H30.12.19	ト ー ハ ツ	B-3	H30.12.25
第21分団	日 野 デ ュ ト ロ	CD-I	H17.11.11	G M い ち は ら	A-2	H17.11.11
第22分団	トヨタランドクルーザー	BD-I	H14.9.24	G M い ち は ら	A-2	H14.9.24
第23分団	日 野 デ ュ ト ロ	CD-I	H21.1.20	G M い ち は ら	A-2	H21.1.20

消防水利の現況

区 分			中央署	東 署	南 署	北 署	計
消 火 栓	公 設	75mm	144	111	104	211	570
		100mm	130	72	71	102	375
		125mm	7		7		14
		150mm	140	37	36	92	305
		200mm	45	10	22	33	110
		250mm	4	2	12		18
		300mm	15	16		7	38
		400mm	3	13	3	3	22
	小 計		488	261	255	448	1,452
	私 設		11	1		2	14
	計		499	262	255	450	1,466
防 火 水 槽	公 設	20㎡未満	12	33	6	38	89
		40㎡未満	6	5	3	2	16
		40㎡以上	112	69	31	179	391
		小 計	130	107	40	219	496
	私 設	20㎡未満	1				1
		40㎡未満	5	4	2	1	12
		40㎡以上	171	69	116	85	441
		小 計	177	73	118	86	454
	計		307	180	158	305	950
そ の 他	プール・受水槽等		12	9	3	12	36
	河川・池等		1		1		2
	計		13	9	4	12	38
合 計			819	451	417	767	2,454

主な機械器具の状況

機 器 名		保 有 数 量					
		計	本 部	中央署	東 署	南 署	北 署
消 防・救 助 用 器 具 等	ライフジャケット	39		18	7	8	6
	フォグガン	11		4	3	2	2
	フォームショットガン	5		1	2	1	1
	ポートパワー	2		1	1		
	大型油圧救助器具	5		2	1	1	1
	マンホール救助器具	1			1		
	マット型空気ジャッキ	3		1	1		1
	エアソー	4		1	1	1	1
	エンジンカッター	4		1	1	1	1
	チェーンソー	13		5	3	2	3
	救命索発射銃	2		1		1	
	緩降機	2		2			
	ファイバースコープ	2		1	1		
	酸素呼吸器	5		5			
	送排風機	1		1			
	加圧排煙機	2		1	1		
	スケッドベシックスレスキューシステム	2		1	1		
	インパルス	3		1	1	1	
救 急 用 器 具	手動式人工呼吸器（BVM）	32		6	7	9	10
	電池式吸引器	8		2	1	2	3
	スクープストレッチャー	12		3	2	3	4
	バックボード	19		6	2	4	7
	背板	8		2	1	3	2
	観察モニター	7		2	1	2	2
	血圧計	24		4	3	8	9
	喉頭鏡	14		3	2	5	4
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	4			1	1	2
	輸液ポンプ	7		2	1	2	2
	血糖値測定器	10		2	2	3	3
	半自動除細動器	7		2	1	2	2
	自動式心マッサージ器	5		1	1	1	2
	静脈採血注射モデル	1			1		
	応急手当訓練用人形（成人）	18		5	4	5	4
	応急手当訓練用人形（小児）	13		4	1	4	4
	応急手当訓練用人形（乳児）	19		6	1	6	6
	応急手当訓練用AED	15		6	3	3	3
	蘇生訓練生体シミュレーター	2		1		1	
測 定 器 具	複合ガス測定器	14		5	3	3	3
	有毒性ガス検知器	1		1			
	ピトーゲージ	1	1				
	ロープ張力計	1		1			
	放射線測定器	8	4	4			
	個人線量計	28	16	12			
	ノズル水圧測定器	1	1				
	北川式ガス検知器	5	1	1	1	1	1
そ の 他	エアテント	3	2				1
	移動貯水槽（組立式）	5		1	1	1	2
	化学防護服	8		8			
	放射線防護服	4		4			
	防毒衣	16		8	8		
	耐熱服	8		8			
	オイルフェンス	4		2		2	
	舟艇	4		1	1	1	1
	圧縮空気充填装置	1		1			
	削岩機	3		1		1	1

震災対策資機材の整備状況

区 分		資 機 材							
		の こ ぎ り	大 型 バ ー ル	金 テ コ	剣 先 ス コ ッ プ	ジ ャ ッ キ	チ ェ ー ン ソ ー	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	ボ ル ト ク リ ッ パ ー
消 防 署	中 央 消 防 署	9	20	12		5	2	1	2
	東 消 防 署	5	12	8		4	2	1	1
	南 消 防 署	3	10	8		2	1		1
	北 消 防 署	5	10	9	2	4	2	2	1
	計	22	52	37	2	15	7	4	5
消 <									

消防相互応援協定等の状況

1 隣接市との協定

協 定 市	締 結 年 月 日	改 定 年 月 日
松 戸 市	昭和25年 6月21日	令和 2年12月10日
野 田 市	昭和26年11月30日	令和 2年12月10日
柏 市	昭和37年 2月22日	令和 元年 5月 9日
埼 玉 県 三 郷 市	昭和44年 9月 1日	平成27年 3月24日

2 広域消防応援協定（県下全市町村）

平成 4年 4月 1日（締結）

平成15年 4月 1日（改定）

平成18年 8月22日（改定）

3 ガス漏れ事故防止対策に関する協定

流山警察署

東京電力（柏・野田）営業所

瓦斯11事業所

昭和60年 6月 1日（締結）

4 茨城県高速自動車道等における消防相互応援協定

令和 元年10月 1日（締結）

5 千葉県消防広域応援隊（消防組織法の改正により毎年4月1日登録）

- ・消火部隊（中央消防署ポンプ車） 1隊5名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・消火部隊（南消防署水槽付ポンプ車） 1隊5名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・消火部隊（東消防署ポンプ車） 1隊5名
- ・救助部隊（中央消防署救助工作車） 1隊5名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・救急部隊（中央消防署高規格救急車） 1隊3名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・救急部隊（東消防署高規格救急車） 1隊3名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・救急部隊（北消防署高規格救急2号車） 1隊3名（緊急消防援助隊重複登録）
- ・特別災害対応部隊（中央消防署大型水槽車） 1隊3名
- ・後方支援部隊（東消防署資機材搬送車） 1隊3名（緊急消防援助隊重複登録）

6 鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定

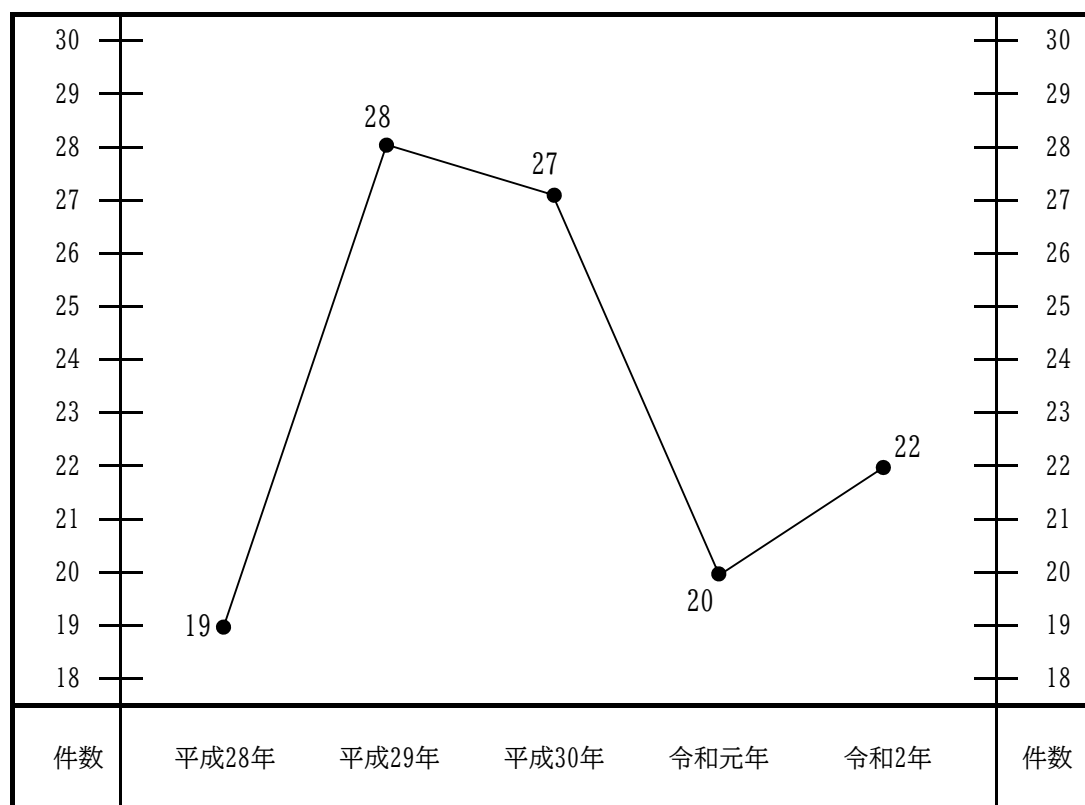
平成23年 4月 1日（締結）

7 災害時等における消防用水の供給支援に関する協定

令和 2年 4月22日（締結）

4 火 災

火災発生件数の推移



用途別火災状況

区 分	建 物 火 災							林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	合 計
	住 宅	共 同 住 宅	併 用 住 宅	学 校	倉 庫	そ の 他	計				
平成25年	11	2			2	4	19		5	9	33
26年	3	3		1	2	3	12		3	6	21
27年	8	1	2		1	6	18		4	11	33
28年	5	5					10		2	7	19
29年	4	3	1			4	12		5	11	28
30年	4	5	1		1	6	17		3	7	27
令和元年	4	4	1			4	13	1	5	1	20
2年	7	4				4	15		2	5	22

火災の発生状況

区 分		単位	令和2年	令和元年	比 較	増減率(%)
火 災 種 別	建 物 火 災	件	15	13	2	15.4
	林 野 火 災			1	△ 1	皆減
	車 両 火 災		2	5	△ 3	△ 60.0
	そ の 他 火 災		5	1	4	400.0
	計		22	20	2	10.0
焼 損 棟 数	全 焼	棟	5	2	3	150.0
	半 焼		1		1	皆増
	部 分 焼		4	4		0.0
	ぼ や		16	7	9	128.6
	計		26	13	13	100.0
焼 失 面 積	建 物	m ²	1,234.0	158.3	1,075.7	679.5
	林 野	a		3	△ 3	皆減
	そ の 他	m ²	6,343.0	2.6	6,340.4	243,861.5
死 者		人	4		4	皆増
負 傷 者			4	4		0.0
り 災 世 帯	全 損	世帯	16	2	14	700.0
	半 損					
	小 損		19	8	11	137.5
	計		35	10	25	250.0
り 災 人 員		人	68	16	52	325.0
損 害 見 積 額 (種 別)	建 物	千円	121,974	9,978	111,996	1,122.4
	林 野					
	車 両		379	960	△ 581	△ 60.5
	そ の 他		392		392	皆増
	計		122,745	10,938	111,807	1,022.2
出火率(1万人あたり)		件	1.1	1.0	0.1	10.0

月別火災発生状況

区分	火 災 種 別(件)					建物焼失 面積(m ²)	損害見積額(千円)	
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計		建物火災	左以外
1月	3				3	149.2	7,033	
2月								
3月	2		1		3	172.0	37,714	379
4月	1			2	3	204.0	16,919	312
5月	5			1	6	161.3	22,274	
6月	1				1	48.0	10,397	
7月								
8月				1	1			80
9月	2				2	498.0	27,410	
10月			1		1			
11月								
12月	1			1	2	1.5	227	
計	15		2	5	22	1,234.0	121,974	771

死傷者のあった火災

発 生 月	火 災 の 種 別 (用 途)	死 傷 者			
		死	傷	性別	年齢
1月	建物火災	3		女	80
				女	74
				男	58
3月	建物火災	1		男	6
4月	建物火災		2	男	61
				女	60
5月	建物火災		1	男	49
9月	建物火災		1	女	33

時間別火災発生状況

区分 時間	火 災 種 別(件)					建物 焼失面積 (㎡)	り 災 世 帯	り 災 人 員	損 害 見 積 額		死 者	負 傷 者
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計				建物 火災 (千円)	左 以 外 (千円)		
0～1												
1～2												
2～3												
3～4	1				1	144.0	5	6	6,996		3	
4～5												
5～6												
6～7	1		1		2		1	1	35	379		
7～8												
8～9												
9～10												
10～11			1	1	2					13		
11～12												
12～13	1				1	5.2	1	3	34			
13～14	1			1	2				20	80		
14～15												
15～16				2	2							
16～17	1				1	48.0	4	8	10,397			
17～18	1				1	498.0	8	10	27,390			1
18～19	2				2	1.5	1	4	230			
19～20	3				3	175.0	7	17	37,907		1	
20～21												
21～22	1			1	2	0.3	1	5	41	299		
22～23	1				1	204.0	6	11	16,919			2
23～24	1				1	158.0	1	3	21,965			1
不 明	1				1				40			
計	15		2	5	22	1,234.0	35	68	121,974	771	4	4

出火原因別の火災件数等

火災 種別	主 な 原 因	主 な 経 過	件数	焼 損 棟 数				焼 損			損害見積額 (千円)
				全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	建 物 ㎡	車 両 台	そ の 他 ㎡	
建 物	こ ん ろ	放置する・忘れる									
		取り扱い不注意									
		そ の 他	2				2				23
	電 気 関 係	機 器 ・ 装 置	2	1			2	498.0			27,396
		配 線 ・ 器 具	1		1		1	48.0			10,397
		トラッキング									
	ス ト ー プ	引 火 ・ 輻 射									
		取り扱い不注意	2	1		2	4	204.0	1		16,954
	放 火	ライター・マッチ									
		そ の 他	2			1	1	3.0			233
	放火の疑い	不 明									
	お 香	転 倒									
	火 遊 び	ライター・マッチ	1	1			4	172.0			37,708
	た ば こ	不 始 末	4	2		1	1	308.7	1		29,222
そ の 他		1				1	0.3			41	
不 明											
計			15	5	1	4	16	1,234.0	2		121,974
林 野	放 火										
	そ の 他										
	計										
車 両	放 火		1						1		379
	放火の疑い										
	電 気 関 係	配 線 ・ 器 具									
	そ の 他		1								
	不 明										
計			2			1		379			
そ の 他	放 火										
	放火の疑い										
	ごみ焼却		1							6,343.0	13
	枯れ草	飛火・延焼									
	たばこ	投げ捨て等	3								379
	そ の 他										
	不 明		1								
	計		5							6,343.0	392
合 計			22								122,745

四季別・曜日別火災発生状況

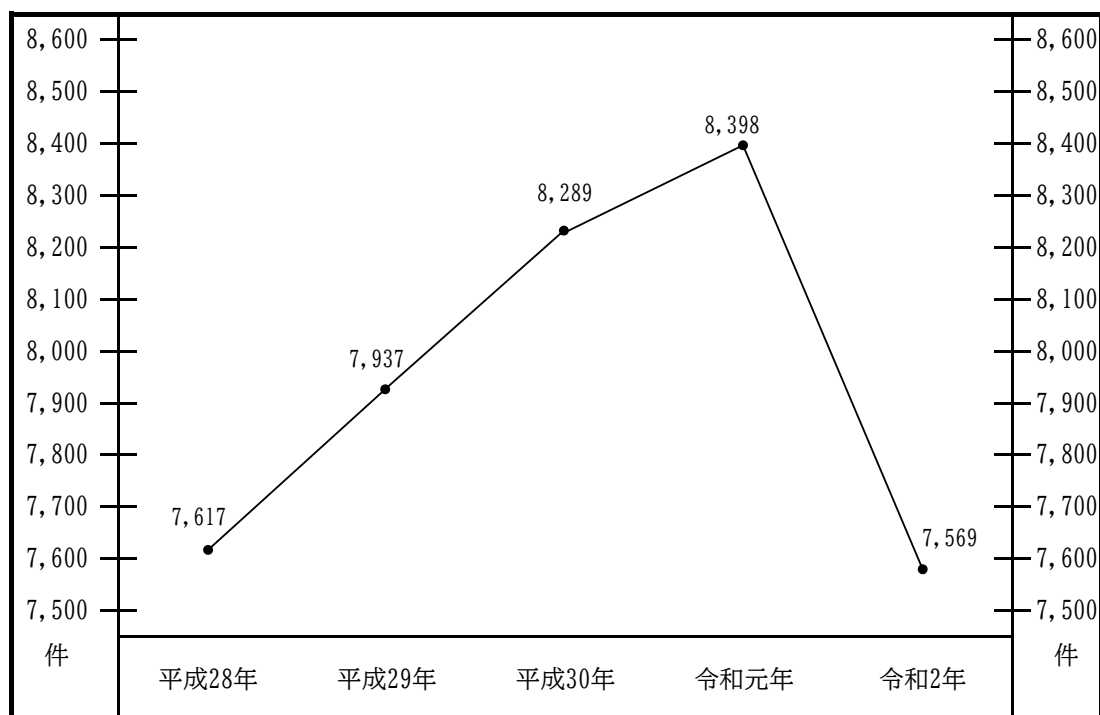
区分	春（3月～5月）		夏（6月～8月）		秋（9月～11月）		冬（12月～2月）		年 計	
	件数	損害見積額(千円)	件数	損害見積額(千円)	件数	損害見積額(千円)	件数	損害見積額(千円)	件数	損害見積額(千円)
日	1	41					2	7,223	3	7,264
月	1	193	1	80	1	27,390			3	27,663
火	3	22,344					2	34	5	22,378
水	2	41							2	41
木	2	312			1	20	1	3	4	335
金	1	40			1				2	40
土	2	54,627	1	10,397					3	65,024
計	12	77,598	2	10,477	3	27,410	5	7,260	22	122,745

3年間の火災原因

(件)																			
年 別	原 因 別	た	こ	炉	ス	こ	煙	電	電	火	マ	飛	灯	放	爆	そ	不	計	
		ば	ん	・	ト	た	突	気	気	あ	ッ	び	火	火	火	の	明		
		こ	ろ	か	ー	つ	・	機	配	そ	チ	火	・	・	・	・	・		・
		こ	ろ	ま	ブ	つ	排	器	線	び	・	・	・	花	放	衝	他		調
平成30年		1	5		1			2	1		1	1	1	5	1	1	7	27	
令和元年		2	5		1		5		1		1			2		2	1	20	
2年		7	2		2			2	1	1		1	1	3		1	1	22	

5 救 急

救急出動件数の推移



事故種別ごとの推移

種別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火災	14	10	19	10	17
自然災害	1		2	1	
水難	1	5	2	2	4
交通事故	631	579	573	561	418
労働災害	47	59	64	64	78
運動競技	43	65	69	51	20
一般負傷	1,136	1,217	1,202	1,338	1,305
加害	55	35	28	29	24
自損行為	56	61	64	47	54
急病	4,988	5,125	5,494	5,600	4,996
その他	645	781	772	695	653
計	7,617	7,937	8,289	8,398	7,569

署別救急活動

区 分		火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
中央消防署	出動件数	9		3	113	21	7	365	1	7	1,332	128	1,986
	救護人員	1		1	123	21	7	359	1	6	1,278	87	1,884
東消防署	出動件数	1			64	11	1	252	8	11	945	192	1,485
	救護人員				63	11	1	246	6	6	901	154	1,388
南消防署 (2隊)	出動件数			1	128	16	10	269	6	16	1,127	139	1,712
	救護人員				131	15	10	257	6	14	1,072	100	1,605
北消防署 (2隊)	出動件数	7			113	30	2	419	9	20	1,592	194	2,386
	救護人員	4			118	30	2	402	8	13	1,529	139	2,245
計	出動件数	17		4	418	78	20	1,305	24	54	4,996	653	7,569
	救護人員	5		1	435	77	20	1,264	21	39	4,780	480	7,122

救急車両の運行

区 分	出動件数	走 行 状 況 (km)		所 要 時 間 (分)	
		延 べ	1 件当たり	延 べ	1 件当たり
中 央 救 急 1	1,611	18,341.1	11.4	119,417	74
東 救 急 1	1,485	18,495.2	12.5	104,946	71
南 救 急 1	1,049	10,291.2	9.8	69,547	66
南 救 急 2 ※1	1,038	11,699.5	11.3	73,007	70
北 救 急 1	1,433	19,419.9	13.6	111,556	78
北 救 急 2 ※2	953	12,334.0	12.9	74,098	78
計	7,569	90,580.9	12.0	552,571	73

※1 南救急2は、4月まで中央救急2として活動。

※2 北救急2は、4月から活動。

月別救急活動

区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
1月	出動件数	4			33	6	3	122		6	497	65	736
	救護人員	1			34	6	3	117		6	475	45	687
2月	出動件数			1	36	3	1	98	4	6	432	68	649
	救護人員				39	3	1	96	4	4	412	54	613
3月	出動件数	4		2	34	2		106	2	3	393	65	611
	救護人員			1	37	2		103	2	2	380	47	574
4月	出動件数	2			27	9		80		1	342	45	506
	救護人員	2			27	9		75			331	39	483
5月	出動件数	4		1	28	3		108	2	2	354	44	546
	救護人員	1			31	3		105	2	2	336	29	509
6月	出動件数	1			30	7		101	3	4	356	37	539
	救護人員				35	7		98	2	3	346	28	519
7月	出動件数				36	7		102	1	3	397	60	606
	救護人員				34	7		97	1	1	379	48	567
8月	出動件数				44	14	3	121		6	547	43	778
	救護人員				44	13	3	117		5	511	26	719
9月	出動件数	1			32	10	3	106	3	7	399	61	622
	救護人員	1			32	10	3	104	2	7	378	43	580
10月	出動件数				31	2	1	123	3		445	64	669
	救護人員				31	2	1	121	3		433	47	638
11月	出動件数				38	9	5	115	1	6	406	48	628
	救護人員				37	9	5	109		2	391	36	589
12月	出動件数	1			49	6	4	123	5	10	428	53	679
	救護人員				54	6	4	122	5	7	408	38	644
計	出動件数	17		4	418	78	20	1,305	24	54	4,996	653	7,569
	救護人員	5		1	435	77	20	1,264	21	39	4,780	480	7,122

時間別救急活動

区 分	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計
0時～2時				7	2		45	3		264	19	340
2～4	2			4	1		27	3	3	225	11	276
4～6	1			10	1		45		4	250	15	326
6～8	1		1	36		1	76		6	394	15	530
8～10	1			40	14	3	172	1	4	578	51	864
10～12			2	63	16	7	168		3	569	110	938
12～14	1			52	13	1	144	1	7	472	125	816
14～16			1	53	12	4	155	2	8	466	96	797
16～18	2			63	8	2	151	2	4	511	104	847
18～20	4			57	7	1	132		6	478	39	724
20～22	2			21	4	1	115	7	4	431	44	629
22～24	3			12			75	5	5	358	24	482
計	17		4	418	78	20	1,305	24	54	4,996	653	7,569

現場到着所要時間

区 分	3分未満	3分～5分	5分～10分	10分～20分	20分以上	計	平均
急 病	18	188	3,739	1,029	22	4,996	8.7
交通事故	4	20	306	86	2	418	8.6
一般負傷	8	64	986	244	3	1,305	8.5
そ の 他	9	24	665	139	13	850	8.8
計	39	296	5,696	1,498	40	7,569	8.6

119番通報から現場に到着するまでに要した時間。

年齢別救護

区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
生 後 28 日 以 内										8	19	27
同 29 日 ～ 6 歳				25			141			228	22	416
7 歳 ～ 17 歳				41	1	13	43	1	5	96	13	213
18 歳 ～ 64 歳	4			263	62	5	181	15	25	1,431	124	2,110
65 歳 以 上	1		1	106	14	2	899	5	9	3,017	302	4,356
計	5		1	435	77	20	1,264	21	39	4,780	480	7,122

救急隊員が行った応急処置

区 分	応 急 処 置 対 象 人 数	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	血 圧 測 定	呼 吸 器 に よ る 心 音 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	心 電 図	(そ の 他 の 在 宅 療 養 含 む)	計
急 病	4,777	25	24	13	121	1,053	180	10	17	4,475	2,183	4,653	3,466	255	16,475
交 通 事 故	432	27	212	1	1	24	4	3	95	419	135	430	154	3	1,508
一 般 負 傷	1,262	128	172	1	9	61	11	3	329	1,151	243	1,249	599	11	3,967
その他	635	20	46		12	172	18	1	37	597	160	623	410	12	2,108
計	7,106	200	454	15	143	1,310	213	17	478	6,642	2,721	6,955	4,629	281	24,058

事故種別傷病程度

(人)

区 分	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他	計	比率 (%)
軽 症	2			336	39	16	761	16	17	2,022	45	3,254	45.7
中等症	2			85	30	3	451	3	12	2,345	320	3,251	45.6
重 症				14	8	1	48	2	8	332	115	528	7.4
死 亡	1		1				4		2	81		89	1.3
その他													
計	5		1	435	77	20	1,264	21	39	4,780	480	7,122	

救急隊員が行った未収容者の現場処置

区 分	応急処置対象人数	血 圧 測 定	・聴 呼 吸 器 による 聴取音	血 の 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	酸 素 吸 入	気 道 確 保	保 温	被 覆	そ の 他	計
急 病	192	99	82	102	113	2					398
交通 事故	14	12	2	14					1	1	30
一 般 負 傷	35	26	10	32	8		1	1	5	3	86
そ の 他	75	54	10	64	17				1		146
計	316	191	104	212	138	2	1	1	7	4	660

高速道路出動件数

区 分	火災	自然	交通	労災	一般	加害	自損	急病	その他	計
令和元年	出 動 数	1	32		1			2	2	38
	搬 送 員		44		1			2		47
令和2年	出 動 数		14					2	1	17
	搬 送 員		19					2		21

6 予 防

防火対象物の現況

(件)

項	署 別		中央 消防署	東 消防署	南 消防署	北 消防署	計
	防火対象物						
1	イ	観 覧 場		1			1
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	22	18	16	24	80
2	イ	ナ イ ト ク ラ ブ					
	ロ	遊 技 場	2		3	1	6
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス			2	1	3
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	2		1	2	5
	ロ	飲 食 店	38	11	31	28	108
4	百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 物 品 販 売 業		52	23	63	43	181
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所		1	1	1	3
	ロ	寄 宿 舎 ・ 下 宿 ・ 共 同 住 宅	638	403	699	529	2,269
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	14	3	10	27	54
	ロ	老 人 ホ ー ム	20	20	8	23	71
	ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス ・ 保 育 所	60	20	29	25	134
	ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	11	11	4	4	30
7	学 校		38	35	19	46	138
8	図 書 館 ・ 博 物 館		1		1		2
9	イ	蒸 気 浴 場		1			1
	ロ	公 衆 浴 場	1			1	2
10	車 両 の 停 車 場		1		1	1	3
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		9	12	6	11	38
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	73	19	31	42	165
13	イ	自 動 車 車 庫	29	11	10	5	55
14	倉 庫		67	18	27	34	146
15	そ の 他 の 事 業 所		149	26	49	57	281
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	193	32	114	87	426
	ロ	上 記 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	78	14	71	42	205
17	重 要 文 化 財 等		1		1		2
18	延 長 50 m 以 上 の ア ー ケ ード					3	3
計			1,499	679	1,197	1,037	4,412

中高層建築物の現況

区 分 署 別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階 以上	計	うち31mを 超える建築 物
中央消防署	58	37	21	25	17	20	18	6	5	4	16	227	35
東消防署	34	11	4	3	6	5	1	1	1			66	3
南消防署	81	43	18	18	9	4	8	4	3		2	190	9
北消防署	51	20	6	1		1		2			1	82	3
計	224	111	49	47	32	30	27	13	9	4	19	565	50

査察の実施状況

項	防火対象物	署 別	予防課	中央 消防署	東 消防署	南 消防署	北 消防署	計
1	観覧場・集会場		1	3	6	7	8	25
2	遊技場							
3	料理店・飲食店		1	10	10	13	21	55
4	マーケット・物品販売業		22	4	1	6	3	36
5	イ ホテル・旅館					1		1
	ロ 共同住宅			64	22	24	36	146
6	イ 病院・診療所		4					4
	ロ 老人ホーム							
	ハ 老人デイサービス・保育所		2					2
	ニ 幼稚園・特別支援学校							
7	学校						2	2
8	図書館・博物館					1		1
9	公衆浴場							
10	車両等の停車場			1		1		2
11	神社・寺院・教会			1	8	4		13
12	工場・作業場			26	5	1	19	51
13	自動車車庫			7	8	4		19
14	倉庫			3	5	5	12	25
15	その他の事業所			30	6	14	5	55
16	複合用途		39	10	5	26	14	94
17	重要文化財等							
18	延長50m以上のアーケード						1	1
	危険物施設		44					44
	少量危険物施設			13	3			16
	住宅防火診断							
	単身高齢者世帯防火診断							
計			113	172	79	107	121	592

建築同意

防 火 対 象 物	件 数	消防用設備等を必要とするもの	防火管理者を必要とするもの
集会場等	8	8	6
遊技場等			
飲食店等	5	5	4
物品販売業を営む店舗等	5	5	4
ホテル等			
寄宿舍・共同住宅	49	46	4
病院・診療所	2	2	1
老人ホーム	10	10	10
老人デイサービス・保育所	20	20	18
幼稚園・特別支援学校	1	1	1
小・中・高・大学校・専門学校	9	3	5
公衆浴場・蒸気浴場・熱気浴場	4	4	4
神社・寺院	2	2	1
工場・作業場	5	5	3
自動車車庫	1		
倉庫	11	7	5
上記に該当しない事業場	14	8	2
特定防火対象物が存する 複合用途防火対象物	25	25	22
上記以外の複合用途防火対象物	2	2	1
専用住宅			
その他	35	2	2
計	208	155	93

同意件数の推移

平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
263件	294件	289件	273件	208件

危険物施設の現況

区分 署別	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	販売	
中央消防署		1	1		1	13	11	8	9		44
東消防署			2			5	16	3	3		29
南消防署		1	1	1		2	1	4	1		11
北消防署	1	7		1	2	11	2	7	10	1	42
計	1	9	4	2	3	31	30	22	23	1	126

危険物施設の許可

区分	製造所	貯蔵所						取扱所			計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	販売	
設置許可						5	1		3		9
変更許可							2	7	3		12
計						5	3	7	6		21
設置の完成検査	1					4	1		2		8
変更の完成検査							2	7	2		11
計	1					4	3	7	4		19

各種の届出

(1) 消防法施行令

区 分		件数	区 分		件数
消防用設備等	着工届	263	消防用設備等点検結果報告書		1,515
	設置届	676	消防計画書	新規届	113
防火管理者	選任届	338		変更届	275
	解任届	233	計		3,413

(2) 危険物の規制に関する政令

区 分		件数	区 分		件数
譲渡引渡届			危険物保安監督者	選任届	6
廃止届		3		解任届	4
仮使用承認申請書		8	品名数量・指定数量倍数変更届		3
予防規程制定変更認可申請書		1	仮貯蔵又は仮取扱承認申請書		3
資料提出書		45	計		93
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は 取扱いの開始届		20			

(3) 火災予防条例

区 分		件数	区 分		件数
防火対象物使用開始届		316	火災とまぎらわしい煙又は 火災を発するおそれのある行為の届		44
炉又は厨房設備設置届			煙火打上げ又は仕掛け届		1
温風暖房機設置届			催物開催届		8
ボイラー又は給湯湯沸設備設置届		13	露店等の開設届出書		3
乾燥設備又はサウナ設備設置届		6	水道断水又は減水届		
ヒートポンプ冷暖房機設置届		5	道路工事届		143
火花を生ずる設備設置届			禁止行為の解除届		2
放電加工機設置届			指定洞道等届		
発電設備設置届		12	指定数量未満の危険物・指定可燃物 貯蔵取扱届		11
変電設備設置届		38			
蓄電池設備設置届		3	指定数量未満の危険物・指定可燃物 貯蔵廃止届		4
ネオン管灯設備設置届					
水素ガスを充填する気球の設置届			計		609

防火対象物定期点検報告制度

項 別	防 火 対 象 物	対象物数	特例認定数
1 項－イ	観 覧 場	1	
1 項－ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	14	
2 項－イ	ナ イ ト ク ラ ブ		
2 項－ロ	遊 技 場	2	
2 項－ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 を 営 む 店 舗		
2 項－ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス	2	
3 項－イ	待 合 ・ 料 理 店		
3 項－ロ	飲 食 店		
4 項	マ ー ケ ッ ト ・ 物 品 販 売 業	29	2
5 項－イ	旅 館 ・ ホ テ ル		
6 項－イ	病 院 ・ 診 療 所	4	
6 項－ロ	老 人 ホ ー ム	1	
6 項－ハ	老 人 デ イ サ ー ビ ス	1	
6 項－ニ	幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校	7	
9 項－イ	公 衆 浴 場		
1 6 項－イ	複 合 用 途	33	
1 6 項の 2	地 下 街		
計		94	2

7 活 動

火災活動

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火 災 件 数		3		3	3	6	1		1	2	1		2	22
出 動 回 数	中央消防署	3		3	2	5	1			2			1	17
	東消防署	2		2	3	4	1			1	1		1	15
	南消防署	2			1	3	1		1	1	1		1	11
	北消防署	2		2	2	2				1			1	10
	計	9		7	8	14	3		1	5	2		4	53
出 動 台 数	中央消防署	15		13	8	18	5			5			5	69
	東消防署	3		3	4	7	1			2	1		2	23
	南消防署	3			1	5	2		2	2	1		1	17
	北消防署	5		4	6	6				3			1	25
	計	26		20	19	36	8		2	12	2		9	134
出 動 人 員	中央消防署	44		40	27	65	17			16			16	225
	東消防署	10		9	13	21	3			7	3		7	73
	南消防署	9			3	17	6		6	6	3		3	53
	北消防署	15		13	19	18				10			3	78
	計	78		62	62	121	26		6	39	6		29	429
放 水 台 数	中央消防署	1		3	1	1	1			2				9
	東消防署				3	1	1			2				7
	南消防署				1	1	2			2				6
	北消防署	1		1	2	3				2				9
	計	2		4	7	6	4			8				31
他市への応援出動	中央消防署													
	東消防署	1	1				1					1		4
	南消防署													
	北消防署													
	計	1	1				1					1		4

救助活動

区 分		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風水害 等自然 災害事 故	機 械 による 事 故	建物等 による 事 故	ガス及 び酸欠 事 故	破 裂 事 故	その他 の事故	計
出動件数		3	17	6	2	1	53			21	103
活動件数		3	16	6	1	1	44			10	81
救出人員		3	26	6	1	1	41			8	86
出 動 人 員	救助隊員	11	58	36	8	4	185			81	383
	兼任救助隊員	6	12				30			16	64
	救急隊員	15	90	18	6	3	160			67	359
	消防隊員	57	146	120	16	11	329			170	849
	計	89	306	174	30	18	704			334	1,655
活 動 人 員	救助隊員	11	43	30	4	4	91			34	217
	兼任救助隊員	6	12				27			3	48
	救急隊員	12	72	15		3	96			27	225
	消防隊員	53	123	88	8	11	248			62	593
	計	82	250	133	12	18	462			126	1,083
出 動 車 両	救助工作車	3	15	8	2	1	49			21	99
	救急車	5	30	6	2	1	53			22	119
	その他	21	49	40	6	3	114			64	297
	計	29	94	54	10	5	216			107	515
活 動 車 両	救助工作車	3	11	6	1	1	24			8	54
	救急車	1	24	5		1	33			9	73
	その他	11	41	29	3	3	85			21	193
	計	15	76	40	4	5	142			38	320

火災防ぎょ活動

区 分	現場までの走行 距離総数 (km)	使 用 ホース (本)	放 水 時 間 (分)				
			消 火 栓	防火水槽	積 載 水	そ の 他	計
中央消防署	260.9	74	1,038	64	30	507	1,639
東 消 防 署	76.9	47	144	20	13	204	381
南 消 防 署	30.4	58	877			620	1,497
北 消 防 署	76.2	44	805	150	1	409	1,365
計	444.4	223	2,864	234	44	1,740	4,882

火災以外の活動

区 分	平成30年		令和元年		令和2年	
	件 数	出動人員	件 数	出動人員	件 数	出動人員
危 険 排 除	194	944	168	761	102	603
緊 急 確 認	129	1,246	199	1,599	189	1,397
怪 煙 等 調 査	8	32	4	37	5	24
救 急 支 援	1,497	4,620	1,532	4,760	1,295	4,113
そ の 他	3	33	2	25	2	49
計	1,831	6,875	1,905	7,182	1,593	6,186

消防防災思想の普及

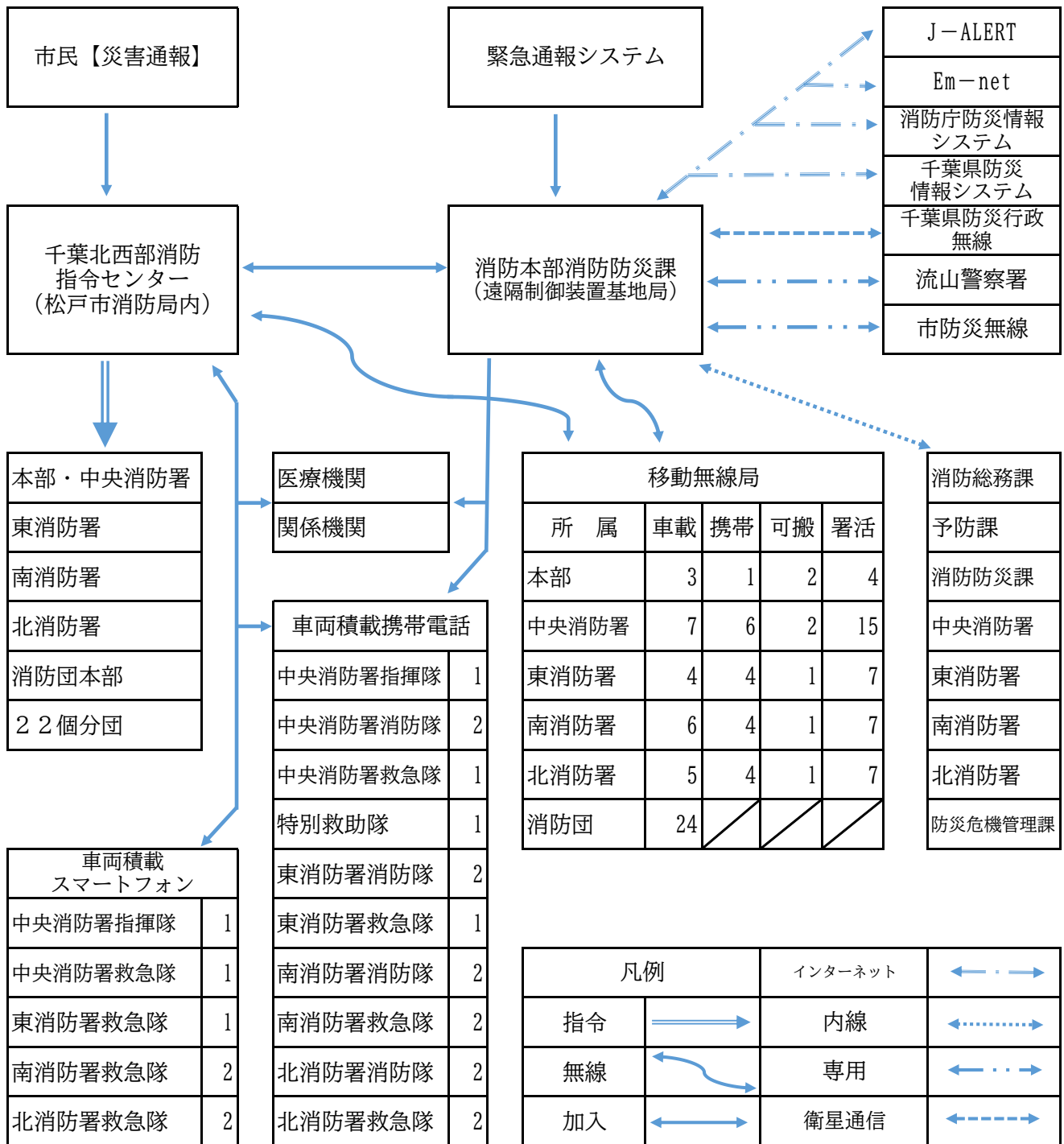
区 分		自 治 会	自主防 災組織	事業所	学校	幼稚園 保育園	その他	計
訓 練 実 施 回 数		1		12	4		6	23
訓 練 の 内 訳	消 火 訓 練			8	3		5	16
	避 難 訓 練			8	3		5	16
	救 護 訓 練			4			1	5
	映 画 会			1				1
	講 話 会			3	3		4	10
	上級救命講習						1	1
	普通救命講習	1		1				2
	救急講習会			1				1
	広 報 紙 等							
	救 助 訓 練							
	通 報 訓 練			8	2		5	15
	そ の 他			1	4		3	8
計		1		35	15		24	75

起震車の活用

区 分	内 訳 (回)						体験人員 (人)
	自 治 会 自主防災会	事業所	学 校	幼稚園 保育園	その他	計	
平成27年	16	2	6	3	19	46	3,721
平成28年	18	7	6	4	12	47	4,530
平成29年	15	13	7	4	18	57	4,489
平成30年	27	3	11	2	13	56	5,456
令和元年	18	11	6	1	23	59	4,049
令和2年			3		2	5	471

8 通信・気象

通信系統図



消防無線機の配置車両

(平成=H、令和=R)

区 分		呼出名称	種 別	整備年月日
消防防災課		遠制流山消防	基地局	H24.12.7
消防本部	指 令 車	流山指令 1	移動局	H24.12.7
	査 察 車	流山査察 1	移動局	H24.12.7
	査 察 調 査 車	流山査察 2	移動局	H24.12.7
中央消防署	指 揮 車	流山指揮 1	移動局	H24.12.7
	普 通 ポ ン プ 車	流山中央ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	化 学 車	流山中央化学 1	移動局	H24.12.7
	救 助 工 作 車	流山中央救助 1	移動局	H24.12.7
	梯 子 車	流山中央梯子 1	移動局	H24.12.7
	大 型 水 槽 車	流山大型水槽 1	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山中央救急 1	移動局	H24.12.7
東消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	流山東水槽 1	移動局	H24.12.7
	普 通 ポ ン プ 車	流山東ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山東救急 1	移動局	H24.12.7
	資 機 材 搬 送 車	流山資材 1	移動局	H24.12.7
南消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	流山南水槽 1	移動局	H24.12.7
	水 槽 付 ポ ン プ 車	流山中央水槽 1	移動局	H24.12.7
	普 通 ポ ン プ 車	流山南ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	けん引車（ボートトレーラー用）	流山指揮 2	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山南救急 1	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山南救急 2	移動局	H24.12.7
北消防署	水 槽 付 ポ ン プ 車	流山北水槽 1	移動局	H24.12.7
	普 通 ポ ン プ 車	流山北ポンプ 1	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山北救急 1	移動局	H24.12.7
	高 規 格 救 急 車	流山北救急 2	移動局	R2.4.1
	高規格救急車（予備車）	流山救急 1	移動局	H24.12.7

火災・救急出動覚知別内訳（第1報のみ）

区 分		119	加入電話	駆け込み	警察	自己	福祉	その他	計
1月	火 災	3							3
	救 急	700	15	2	13		4	2	736
2月	火 災								
	救 急	621	10	3	9		2	4	649
3月	火 災	1			1			1	3
	救 急	578	11	1	19		2		611
4月	火 災	2			1				3
	救 急	485	9		9		1	2	506
5月	火 災	4			1			1	6
	救 急	519	7	5	15				546
6月	火 災	1							1
	救 急	503	14	2	16	1		3	539
7月	火 災								
	救 急	573	12	1	14			6	606
8月	火 災		1						1
	救 急	736	18		23			1	778
9月	火 災	1						1	2
	救 急	600	10		12				622
10月	火 災	1							1
	救 急	647	9	6	5		1	1	669
11月	火 災								
	救 急	606	7		15				628
12月	火 災	2							2
	救 急	645	9	1	18	1		5	679
計	火 災	15	1		3			3	22
	救 急	7,213	131	21	168	2	10	24	7,569

病院紹介状況

区 分	日	月	火	水	木	金	土	計
1 月	24	14	3	30	21	26	23	141
2 月	34	19	10	4	7	5	22	101
3 月	19	5	6	6	7	9	6	58
4 月	13	10	14	18	13	7	18	93
5 月	21	12	9	11	17	17	17	104
6 月	19	6	12	7	7	6	9	66
7 月	21	4	6	12	23	23	19	108
8 月	27	12	11	11	9	12	29	111
9 月	23	15	10	19	6	10	20	103
10 月	22	7	8	12	11	6	28	94
11 月	35	19	13	7	9	9	14	106
12 月	25	2	13	13	11	6	11	81
計	283	125	115	150	141	136	216	1,166

口頭指導状況

千葉北西部消防指令センターでの口頭指導

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
気 道 確 保	3	2	4	3	2	2	1	4	4	2	3	2	32
人 工 呼 吸						1		2					3
心 臓 マッサージ	21	26	25	21	22	16	19	17	18	17	15	28	245
止 血	15	16	13	22	14	15	17	15	17	19	18	19	200
被 覆									1				1
固 定			1										1
移 動	2	1	3	1			1			1	2	1	12
体 位	34	43	39	23	18	13	9	12	13	11	10	12	237
心 肺 蘇 生						1		1			2		4
除 細 動	3	8	9	3	4	2	4	3	5	6	3	6	56
創 傷 処 置				1	1								2
そ の 他 処 置	47	52	51	45	44	30	29	41	31	39	37	47	493
計	125	148	145	119	105	80	80	95	89	95	90	115	1,286

気象状況

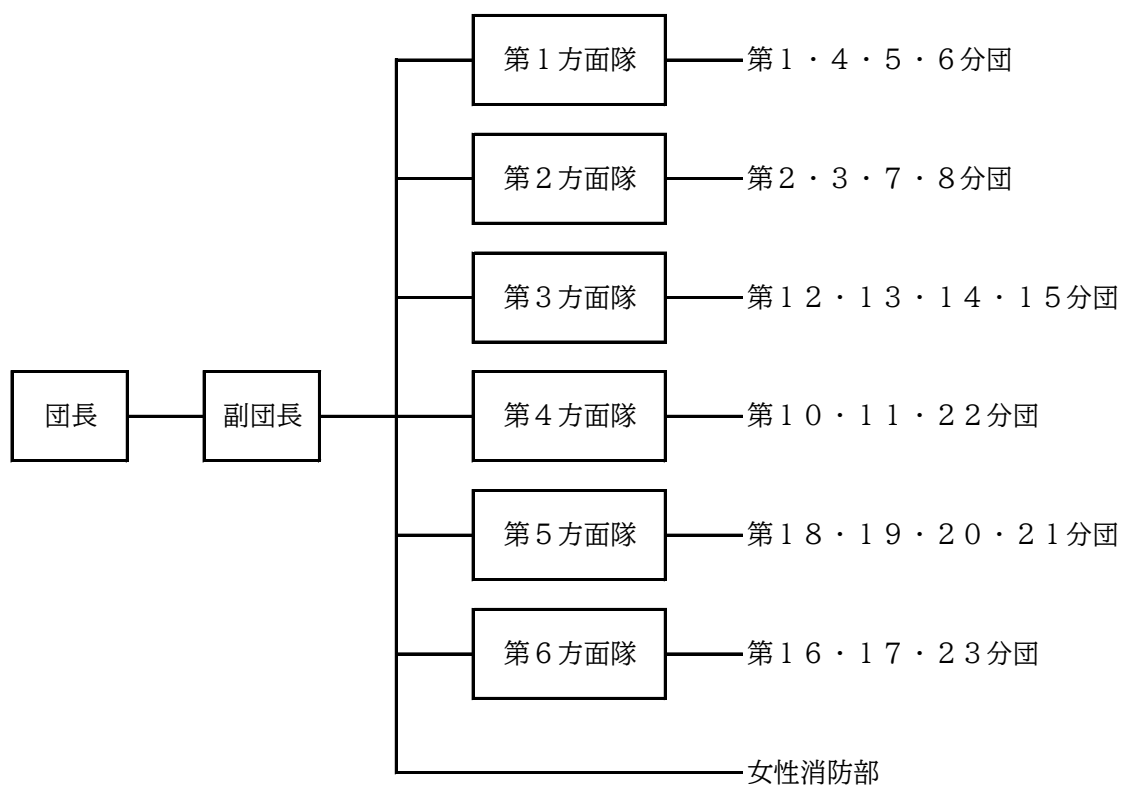
区 分	気 温 ℃			平均 湿度 %	平均 風速 m/s	最多 風向	降 雨 量 mm	天 気 日				火災警報発令
	最高 気温	最低 気温	平 均					晴	曇	雨	雪	
1月	18.4	-0.3	6.4	71.7	2.4	NNW	103.5	19	7	4	1	
2月	18.3	-4.1	7.5	62.5	2.7	NNW	14.5	26	1	2		
3月	23.1	0.4	10.1	71.3	3.2	NNW	90.0	20	7	2	2	
4月	23.8	5.4	12.4	71.2	3.4	NW	181.0	17	2	11		
5月	29.2	10.2	19.4	82.0	3.1	S	96.5	21	2	8		
6月	34.5	17.2	23.2	89.7	2.9	S	189.5	18	7	5		
7月	32.1	17.1	24.3	96.5	3.1	S	215.0	2	15	14		
8月	38.0	22.0	29.2	87.9	2.9	S	28.0	28	1	2		
9月	35.1	13.5	24.2	92.6	2.9	N	83.0	13	8	9		
10月	27.3	8.6	17.1	84.4	2.2	NNW	159.5	16	7	8		
11月	24.4	3.2	13.2	76.5	2.3	NNW	10.0	26	3	1		
12月	16.7	-2.7	6.6	71.2	2.0	NNW	9.5	25	4	2		
計	—	—	—	—	—	—	1,180.0	231	64	68	3	
平均	26.7	7.5	16.1	79.8	2.8	—	98.3	—	—	—	—	—

気象情報の受理

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
警 報							1						1
注 意 報	17	20	37	40	26	27	26	37	17	8	12	8	275
各種情報	43	39	45	21	25	29	85	68	76	49	52	54	586
計	60	59	82	61	51	56	112	105	93	57	64	62	862

9 消 防 団

消防団の組織



団員の実員

区分	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
実員 (うち女性団員)	1	3	6	23 (1)	22	23 (1)	46 (2)	173 (8)	297 (12)

機械器具置場の現況

(昭和=S、平成=H、令和=R)

区 分	所 在 地	建物構造	延 面 積	建築年月日
消防団本部	三輪野山1-994	消防本部に併設		S49.5.24
第 1 分 団	流山5-34-2	鉄骨2階建	87.83㎡	H4.2.28
第 2 分 団	流山2-341-2	木造2階建	53.83㎡	H29.3.31
第 3 分 団	加5-1673	木造平屋建	57.97㎡	R1.10.18
第 4 分 団	南流山8-24-3	木造平屋建	57.96㎡	H18.3.24
第 5 分 団	鱈ヶ崎429	木造2階建	53.82㎡	H11.3.1
第 6 分 団	平和台4-74-4	木造2階建	53.82㎡	H9.3.25
第 7 分 団	加2-12-7	木造2階建	57.96㎡	R2.3.25
第 8 分 団	三輪野山5-631-1	木造2階建	53.83㎡	H4.3.30
第 10 分 団	西深井339-4	木造2階建	54.67㎡	H18.12.11
第 11 分 団	東深井313	木造2階建	54.82㎡	H6.3.8
第 12 分 団	平方170-7	木造2階建	53.83㎡	H4.3.30
第 13 分 団	富士見台1-28	木造2階建	53.83㎡	S62.3.24
第 14 分 団	西初石3-1465-1	木造2階建	53.80㎡	H14.2.26
第 15 分 団	下花輪779-3	木造2階建	53.83㎡	H29.3.31
第 16 分 団	名都借8-1	木造2階建	57.96㎡	H22.3.19
第 17 分 団	(仮設) 前平井104	木造2階建	120.04㎡	H22.12.25
第 18 分 団	長崎2-453-1	木造2階建	53.82㎡	H8.3.27
第 19 分 団	駒木158-1	木造2階建	57.96㎡	H26.2.14
第 20 分 団	駒木台314-11	木造2階建	57.96㎡	H24.3.26
第 21 分 団	東初石3-129-19	木造2階建	57.96㎡	H20.3.18
第 22 分 団	江戸川台東3-2	木造2階建	57.96㎡	H23.1.26
第 23 分 団	松ヶ丘1-456-8	木造2階建	59.80㎡	H21.2.2

団員の配置

区 分	団 長	副 団 長	方 面 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
消防団本部 (うち女性団員)	1	3	6	1 (1)		1 (1)	2 (2)	8 (8)	22 (12)
第 1 分 団				1	1	1	2	8	13
第 2 分 団				1	1	1	2	8	13
第 3 分 団				1	1	1	2	9	14
第 4 分 団				1	1	1	2	6	11
第 5 分 団				1	1	1	2	4	9
第 6 分 団				1	1	1	2	7	12
第 7 分 団				1	1	1	2	8	13
第 8 分 団				1	1	1	2	11	16
第 10 分 団				1	1	1	2	10	15
第 11 分 団				1	1	1	2	4	9
第 12 分 団				1	1	1	2	9	14
第 13 分 団				1	1	1	2	10	15
第 14 分 団				1	1	1	2	5	10
第 15 分 団				1	1	1	2	9	14
第 16 分 団				1	1	1	2	7	12
第 17 分 団				1	1	1	2	10	15
第 18 分 団				1	1	1	2	5	10
第 19 分 団				1	1	1	2	7	12
第 20 分 団				1	1	1	2	7	12
第 21 分 団				1	1	1	2	6	11
第 22 分 団				1	1	1	2	8	13
第 23 分 団				1	1	1	2	7	12
計	1	3	6	23	22	23	46	173	297

団員の年齢・勤務年数

区 分		団 長	副 団 長	方 面 隊 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
年 齡	2 0 歳 未 満								1	1
	2 0 歳 以 上 3 0 歳 未 満					1		2	26	29
	3 0 歳 以 上 4 0 歳 未 満				1	7	7	18	45	78
	4 0 歳 以 上 5 0 歳 未 満				17	10	9	18	52	106
	5 0 歳 以 上 6 0 歳 未 満		3	6	4	3	6	8	41	71
	6 0 歳 以 上	1			1	1	1		8	12
	計	1	3	6	23	22	23	46	173	297
勤 務 年 数	5 年 未 満					3	2	8	77	90
	5 年 以 上 1 0 年 未 満					2	4	15	27	48
	1 0 年 以 上 1 5 年 未 満				8	8	8	12	14	50
	1 5 年 以 上 2 0 年 未 満				6	5	5	8	18	42
	2 0 年 以 上 2 5 年 未 満			1	3	2	2	1	9	18
	2 5 年 以 上 3 0 年 未 満		2	3	4	2	1	2	13	27
	3 0 年 以 上	1	1	2	2		1		15	22
	計	1	3	6	23	22	23	46	173	297

団員の職業別構成

職 業 構 成													
農 業	林 鋳 業	建 設 業	製 造 業	水 道 業	ガ ス 熱 供 給 ・ 電 気 ・ 通 信 業	運 輸 業	飲 食 店 ・ 卸 売 ・ 小 売 ・	保 険 業 ・ 金 融 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員	郵 政 等 ・ J A	計 ・ そ の 他
11		52	32	11	27	30	1	6	55	21	31	20	297

就 業 形 態				
被用者	自 営 業 者	家族従業員	学 生	そ の 他
202	62	16	9	8

年齢別入団員

区 分	消 防 団 本 部	第 1 方 面 隊	第 2 方 面 隊	第 3 方 面 隊	第 4 方 面 隊	第 5 方 面 隊	第 6 方 面 隊	計
18歳 ～ 25歳		1		1		2		4
26歳 ～ 30歳		3		1				4
31歳 ～ 35歳						1	1	2
36歳 ～ 40歳		1	1	1		2		5
41 歳 以 上		2	4	2	2		1	11
計		7	5	5	2	5	2	26

勤続年数別退団員

区 分	消 防 団 本 部	第 1 方 面 隊	第 2 方 面 隊	第 3 方 面 隊	第 4 方 面 隊	第 5 方 面 隊	第 6 方 面 隊	計
5 年 未 満		1		1		2		4
5年以上 ～ 10年未満			3	1		3		7
10年以上 ～ 15年未満			1		1	1	1	4
15年以上 ～ 20年未満		3	2		1	1	1	8
20 年 以 上	2				3	1		6
計	2	4	6	2	5	8	2	29

消防団の活動

区 分	火 災 等		風 水 害		警 戒		訓 練		そ の 他		計	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
消防団本部 (うち女性団員)	7	20			32	70	3 (1)	27 (9)	9 (7)	52 (17)	51 (8)	169 (26)
第 1 分 団	2	14			24	85	2	10	3	5	31	114
第 2 分 団					24	98	1	4	2	3	27	105
第 3 分 団					24	80	2	10	2	3	28	93
第 4 分 団	2	9			17	61	2	7	2	4	23	81
第 5 分 団	2	9			18	67	2	6	3	5	25	87
第 6 分 団	2	11			21	80	2	11	3	5	28	107
第 7 分 団	1	6			19	93	2	7	2	3	24	109
第 8 分 団					17	70	2	8	2	3	21	81
第 10 分 団	2	13			30	113	2	10	2	3	36	139
第 11 分 団	3	13			18	61	1	3	2	3	24	80
第 12 分 団	1	9			34	129	2	10	3	5	40	153
第 13 分 団	1	3			33	123	2	7	3	5	39	138
第 14 分 団	1	6			21	88	2	8	3	5	27	107
第 15 分 団	1	9			28	95	2	6	3	5	34	115
第 16 分 団					19	80	1	6	2	3	22	89
第 17 分 団					21	87	1	10	2	3	24	100
第 18 分 団	1	5			34	125	1	7	2	3	38	140
第 19 分 団	1	3			34	129	2	11	2	3	39	146
第 20 分 団	1	7			27	101	1	6	2	3	31	117
第 21 分 団	1	9			25	108	2	9	2	3	30	129
第 22 分 団	3	26			21	81	2	9	2	3	28	119
第 23 分 団					22	106	2	12	2	3	26	121
計	32	172			563	2,130	41	204	60	133	696	2,639